FUJIIRYOKI

添付文書

取扱説明書

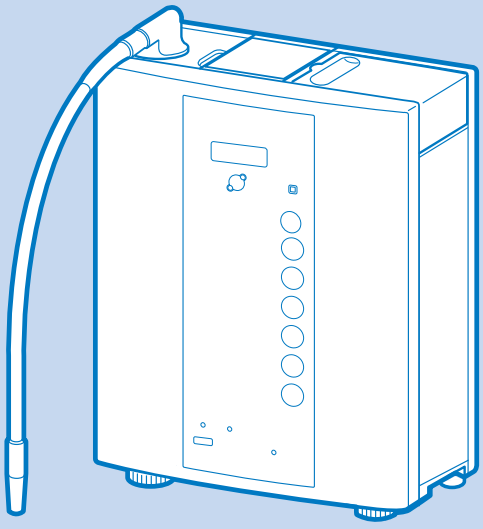
このたびは当社製品をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。
この説明書には、ご使用になる上で大切な事項が記載されております。ご使用前に必ずお読みの上、正しくお使いください。
　お読みになった後は、別紙の「保証書」とともに大切に保存してください。

連続式電解水生成器
（デジタル表示付）

TREVI+ H_2 FWH-6000

電解水素水生成器Ｓ１

家庭用



使用目的、効能または効果

胃腸症状改善のための電解水素水の生成

・胃もたれや胃の不快感をやわらげます。
・胃腸の働きを助け、お通じを良好にします。

本書では生成される水の名称として、「電解水素水」・「酸性水」を使用しています。
これらはJIS T 2004（家庭用電解水生成器）で用いられる「アルカリ性電解水」・「酸性電解水」に相当します。

目次

安全のために必ずお守りください …… 4
ご使用になる前に …… 8
各部のなまえ …… 9

分岐栓の取り付け方 …… 13
本体の設置 …… 16
デリバリーパイプの取り付け …… 19
排水ホースの取り付け …… 19
給水ホースの接続 …… 20

電解水素水・酸性水・浄水を使う …… 21
電解水素水のpH値が低いときは …… 24
水素レベルを見る …… 25
ORP値を見る …… 25
流量を見る …… 25
カートリッジの寿命を見る …… 26
衛生水の生成 …… 27
ご使用上のお願い …… 29
pH(ペーハー)値を測定する …… 30

本体内部の洗浄 …… 31
お手入れ …… 32
凍結防止について …… 32
カートリッジの交換 …… 33
電解補助剤の添加 …… 37

故障かな…と思ったら …… 38
製品を廃棄するときのお願い …… 41
アフターサービスと保証 …… 41
仕様 …… 42

安全のために必ずお守りください

- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。
- 注意事項は次のように区分しています。
  いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	取り扱いを誤った場合、**使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度。**
⚠注意	取り扱いを誤った場合、**使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度。**

＜絵表示の例＞

	記号は、**「禁止」（しないでください）**を示しています。 「分解禁止」　 「水場での使用禁止」 「水ぬれ禁止」　 「ぬれ手禁止」　 「火気禁止」
	● 記号は、**「強制」（必ずしてください）**を示しています。 「一般的な行為」 「電源プラグをコンセントから抜く」

- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに、必ず保存してください。

⚠警告

禁止	**飲用に合格した水（水道水など）以外は使用しない。** (体調を損なう原因)
	コンセントの定格を超える使いかたや交流100V以外の電源では使用しない。日本国内専用です。(火災、感電の原因)
	電源コード・電源プラグが損傷するようなことはしない。 ・ステープル（ ⊓ ）などで固定する　・傷つける　・加工する　・無理に曲げる ・ねじる　・引っ張る　・熱器具に近づける　・重いものを載せる　・束ねる ・はさみ込むなどをしない。(傷んだまま使用すると、感電、ショート、火災の原因) ※電源プラグをコンセントから抜くときは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く。 ※電源コードや電源プラグの修理は、お買い上げの販売店または、お客様相談窓口へ修理を依頼してください。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。 (感電、ショート、発火の原因)
必ず守る	**本体を誤って水中に落としたときは、電源プラグをコンセントから抜き本体を引き上げる。**(感電の原因) ※お買い上げの販売店またはお客様相談窓口へ必ず修理を依頼する。
	電源プラグに付いたほこりなどは、取り除く。 （電源プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良をおこし、火災の原因） ※電源プラグをコンセントから抜き、乾いた布でほこりをふき取る。
	電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む。 (差し込みが不十分だと、感電や発熱による火災の原因)
電源プラグを抜く	**お手入れの際は必ず電源プラグをコンセントから抜く。** (感電の原因)
水ぬれ禁止	**本体は水洗いしたり、水をかけたりしない。** (漏電、感電の原因)
水場での使用禁止	**浴室など湿気の多い場所で使用しない。** (漏電、感電の原因)
ぬれ手禁止	**濡れた手で電源プラグの抜き差しをしない。** (感電の原因)
分解禁止	**本器の改造、分解、修理は絶対にしない。** (火災、感電の原因) ※修理はお買い上げの販売店またはお客様相談窓口へご相談ください。

安全のために必ずお守りください

⚠注意

必ず守る

次の方は電解水素水を飲む前に医師に相談する。
・持病のある方、身体の弱っている方あるいは身体に異常を感じている方。
・医師の治療を受けている方、特に腎臓に障害のある方。

電解水素水を飲用して身体に異常を感じたとき、または飲用し続けても症状に改善がみられない場合は、使用を中止し医師に相談する。

初めて飲用される方は、電解水素水１(pH値の目安8.5)に設定し少量(コップ1～2杯)ずつ飲用して電解水素水になれた後、体調に応じてpH値と量を増して飲用する。
・pHの高い電解水素水を飲んだり使用すると、体調を損なうことがあります。

次の方は酸性水を使用する前に医師に相談する。
・肌の弱い方。
・アレルギー体質の方。

酸性水を使用して肌に異常を感じたときは、使用を中止し医師に相談する。

電解水素水・浄水・酸性水は生成後速やかに使用する。
くみ置きする場合は、清潔な密閉容器に入れ冷蔵庫に保存して２日以内に使用する。
・電解水素水と浄水は水の中の殺菌剤（カルキなど）が除去されているため、一般細菌が増えやすいので、長期間保存した水を飲んだり、使用すると体調を損なうことがあります。

使い始めは本体内部の溜まり水を流してから使用する。
・毎日の使い始めはデジタル表示部が点滅から点灯に変わるまで（約1.0リットル）通水してから使用する。
・2日以上使わなかったときは、デジタル表示部が点滅から点灯に変わっても、2分以上通水してから使用する。

禁止

腎疾患(腎不全やカリウム排泄障害など)の方は電解水素水を飲用しない。

医薬品を電解水素水で服用しない。

ｐH10以上の水（強電解水素水）を直接飲用しない。(体調を損なう原因)
・飲用にはpH9.5前後「電解水素水３（日常飲用）」をおすすめします。また、1日あたりの飲用量は0.5リットルから1リットルを目安にしてください。

次のような水は飲まない。(体調を損なう原因)
・酸性水　・排水ホースから出る水
・洗浄中の水　・衛生水

指定のグリセロリン酸カルシウム以外のものは入れない。
(体調を損なう原因)
・別売品をお使いください。

付属のpH測定液以外のものは使用しない。
・付属品または別売品をお使いください。

アルカリに弱いアルミ製容器や、酸に弱い銅製容器などは使用しない。
・容器が変色したり、傷むことがあります。

⚠注意

禁止	・本体側に35℃以上のお湯を流さない。(故障の原因) ・分岐栓に60℃以上のお湯を流さない。(やけどまたは故障の原因)
	電解水素水・酸性水・浄水・衛生水を魚などの飼育水として使用しない。 ・環境が変わり、魚などが死ぬことがあります。
	pH測定液や測定液の入った水は飲んだり、目に入れたりしない。 (体調を損なう原因)
	洗浄中ランプやすすぎランプ、デジタル表示が点滅中の水は飲まない。 (体調を損なう原因)
	衛生水はpH2.5程度の強酸性水なので絶対に飲用しない。 (体調を損なう原因)
	衛生水を使用して身体に異常を感じたときは、速やかに使用を中止して医師に相談する。
	衛生水は保存しない。 (発生する塩素により、体調を損なう原因)
	衛生水に金属製食器や指輪を漬け置きしない。 (さびたり、変色する原因)
火気禁止	pH測定液は、アルコール類が含まれているので火気に近づけない。 (火災の原因)
必ず守る	設置後及び長期間（目安：1週間以上）使用しなかった場合は、付属のpH測定液で必ずpH値を測定し、電解水素水3（pH値の目安9.5）がpH10を超えていないことを確認してから使用する。その後も定期的（1か月に1回以上）に測定する。
	電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って抜く。 (感電、ショート、発火の原因)
	長期間（1週間以上）使用しない場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
	本体を壁掛けで使用する場合、設置は必ず販売店に相談する。 (本体落下などの事故の原因)
	衛生水を生成、使用、排水するときには、塩素臭がするので換気扇を回す、窓を開けるなど換気をよくして使用する。 (体調を損なう原因)
	衛生水や排水ホースから出る水が目に入ったときは、すぐに水道水で洗い流す。 (体調を損なう原因)
	ステンレス製のシンクで衛生水を生成、使用、排水した後は、水道水で洗い流す。 (シンクが変色する原因)
	衛生水が衣類や髪に付着したときは、水道水で洗い流す。 (脱色する原因)

ご使用になる前に

上手にお使いいただくために

● 4つの水を使い分け　用途に合わせて上手にお使いください。

pH調整ボタン		用　途	pH値の目安
電解水素水	強	アクの強い食材（ゴボウやコンニャクなど）の調理などに。⚠注意 直接飲用しないでください。	10～11
	3	**日常飲用。**コーヒー、紅茶、煮物、汁物などに。	9～9.9
	2	**飲み慣れ。**お米を炊くときなどに。	8.5～9.5
	1	**飲み始めに。**	8～9
浄水		カートリッジによりろ過された水です。 薬の服用、ミルク、飲用などに。 ※電気分解はされていません。	――
酸性水		**洗顔に。** ⚠注意 飲用しないでください。	4.5～6.5
衛生水		通水路やまな板などの洗浄に。 ⚠注意 飲用しないでください。	2.5～3.5

● 捨て水ゼロモード搭載

「捨て水ゼロ」ランプ点灯中は生成開始時の捨て水がなく、すぐにご使用できます。

● 見やすいデジタル表示

- デジタル表示で使用している水がひと目で確認できます。
- pH(ペーハー)、水素レベル、ORP(水の酸化還元電位)、総流量、通水量(カートリッジの使用可能残量)を表示します。

● ボタン操作ひとつで電解能力を上げる「水素プラスモード」と「Hiモード」を搭載

pH値が上がりにくい地域で簡単設定
pH測定値がpH値の目安より低いときに「水素プラスモード」を使用してください。
同時に水素発生量も増加します。
「水素プラスモード」を使用してもpH値が目安の範囲に入らない場合は、「Hiモード」を使用してください。
※水質や使用条件により、上がるpH値に幅があります。

● 水のpH（ペーハー）とは

水中の水素イオンの量を表し、水がアルカリ性か酸性かを表す指標です。

酸 性 (小さい数値) ← 中 性 (7) → アルカリ性 (大きい数値)

● 水素レベルとは

水の電気分解によって発生するアルカリ側の水素量の目安を表示します。

● 水のORPとは

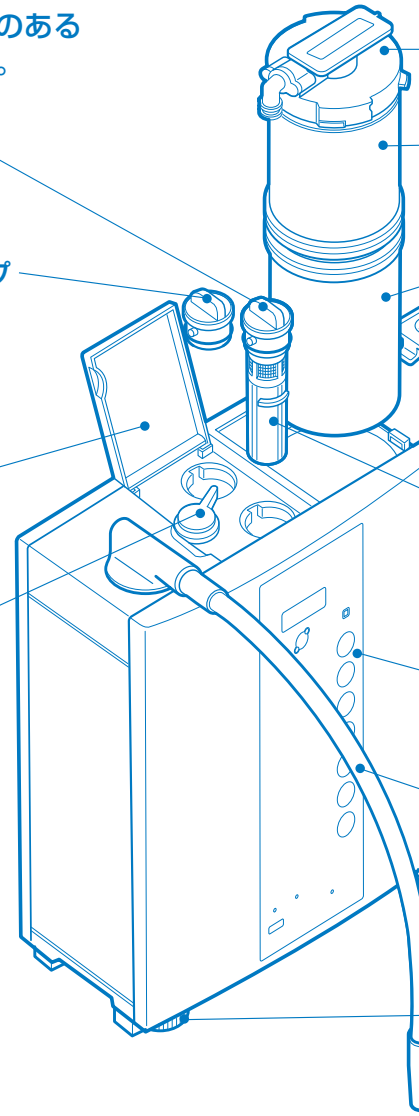
物を酸化および還元する電気的エネルギーを表す指標です。

- プラスの値が高いほど酸化する力が強くなります。
- マイナスの値が低いほど還元する力が強くなります。

各部のなまえ

つづく

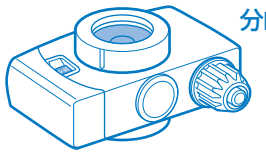
の中の数字は説明のあるページを示します。



- カートリッジキャップ 34
- 上カートリッジ 34
- 下カートリッジ 34
- カートリッジカバー 34
- 食塩ケース 27
- 操作パネル
- デリバリーパイプ（吐水口）
- アジャスター
- 食塩キャップ 27
- カルシウムキャップ 37
- トップカバー
- 電解水、衛生水切替レバー 28

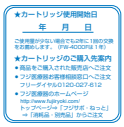
本体

＜付属品＞

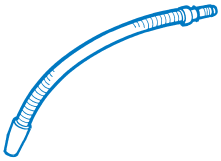


分岐栓

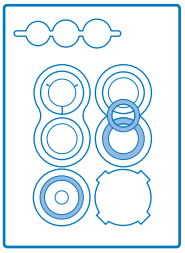
壁掛け用
木ネジ
2個



カートリッジ
交換シール
2枚



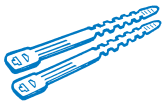
デリバリー
パイプ



分岐栓取付け用
付属品

食塩
（衛生水生成補助剤）
1包 5g(3包入)

吸盤
（排水ホース固定用）

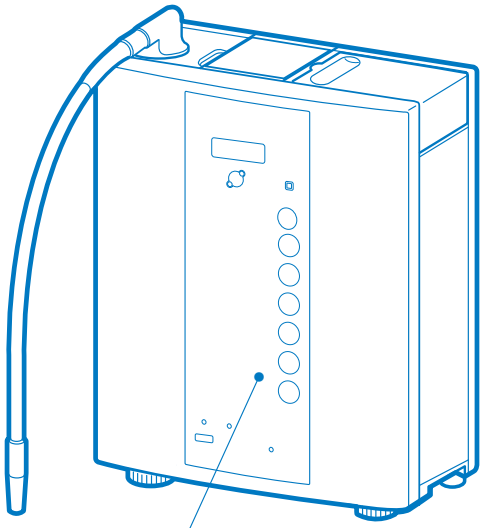


ホース固定
バンド
2本

pH測定液セット
（pH測定液
pH比色紙表
専用コップ）

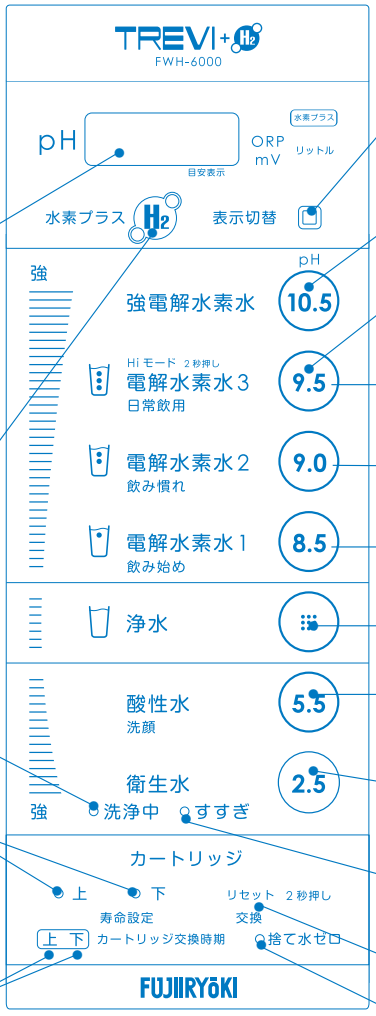
各部のなまえ

＜操作パネル＞



の中の数字は説明のあるページを示します。

デジタル表示部
デリバリーパイプから出る水のpH値、水素レベル、ORP値とデリバリーパイプと排水ホースから出る水を合わせた総流量とカートリッジの使用可能通水量が表示されます。
(上記の数値は目安です)
※実際に生成される水は、水質や流量の変動でpH値、水素量、ORP値が安定しない場合があったり、通水量に誤差が生じる場合があります。



24 水素プラスボタン

表示切替ボタン 22

強電解水素水ボタン 22

Hiモード設定ボタン 24
(2秒間長押しにより設定)

電解水素水ボタン 22

浄水ボタン 22

酸性ボタン 22

衛生水ランプ 28

すすぎランプ 28

カートリッジ交換リセットボタン 35

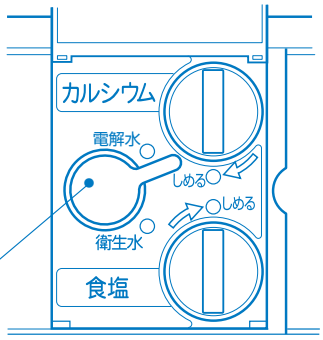
捨て水ゼロランプ 22

31 洗浄中ランプ

36 カートリッジ寿命設定ボタン/ランプ

33 カートリッジ交換ランプ

＜電解水、衛生水切替レバーの表示＞

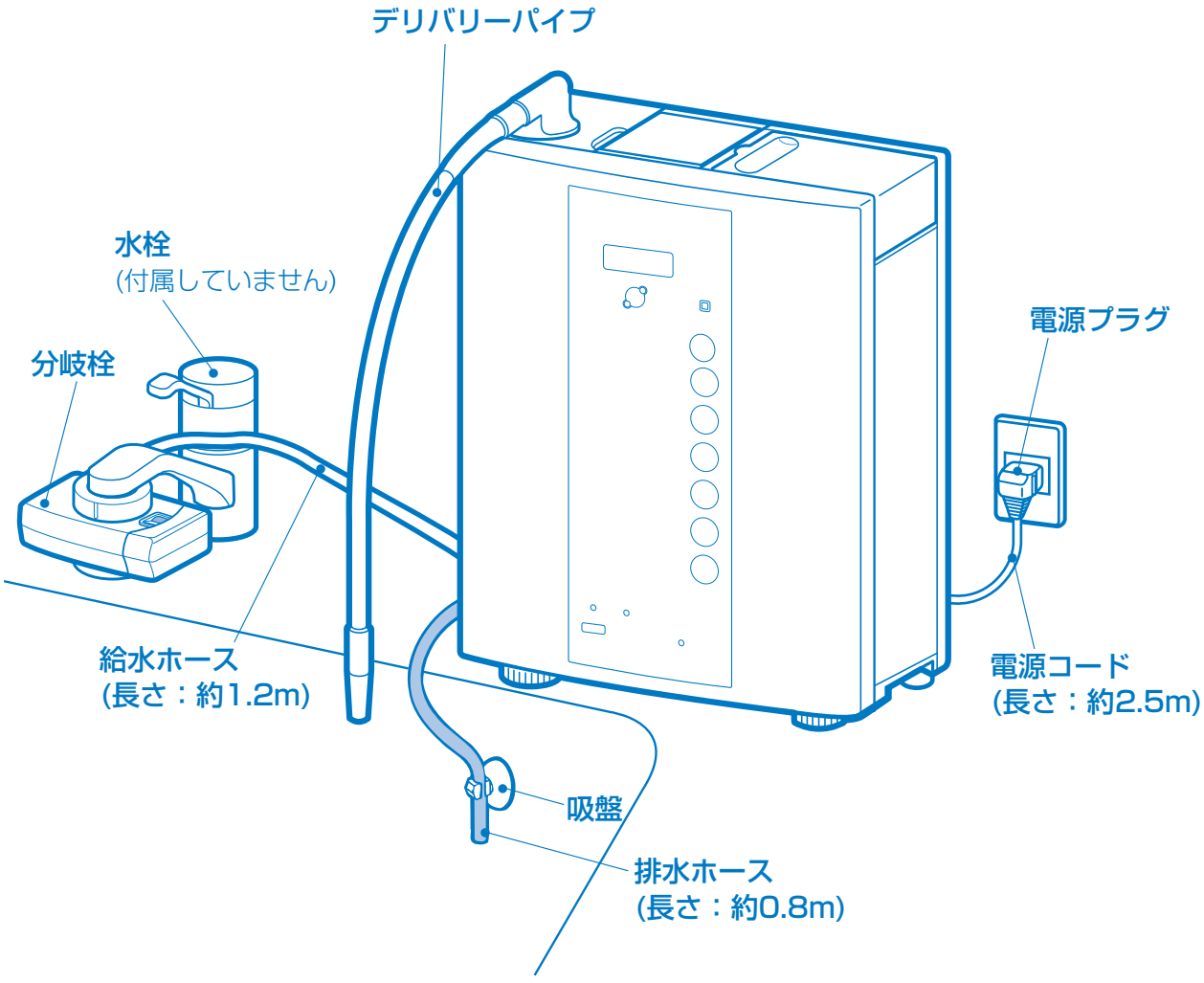


※「衛生水」と区別するため、「電解水素水」と「酸性水」を総称して「電解水」と呼びます。

電解水、衛生水切替レバー

※レバーは止まるところまで確実に切り替えてください。

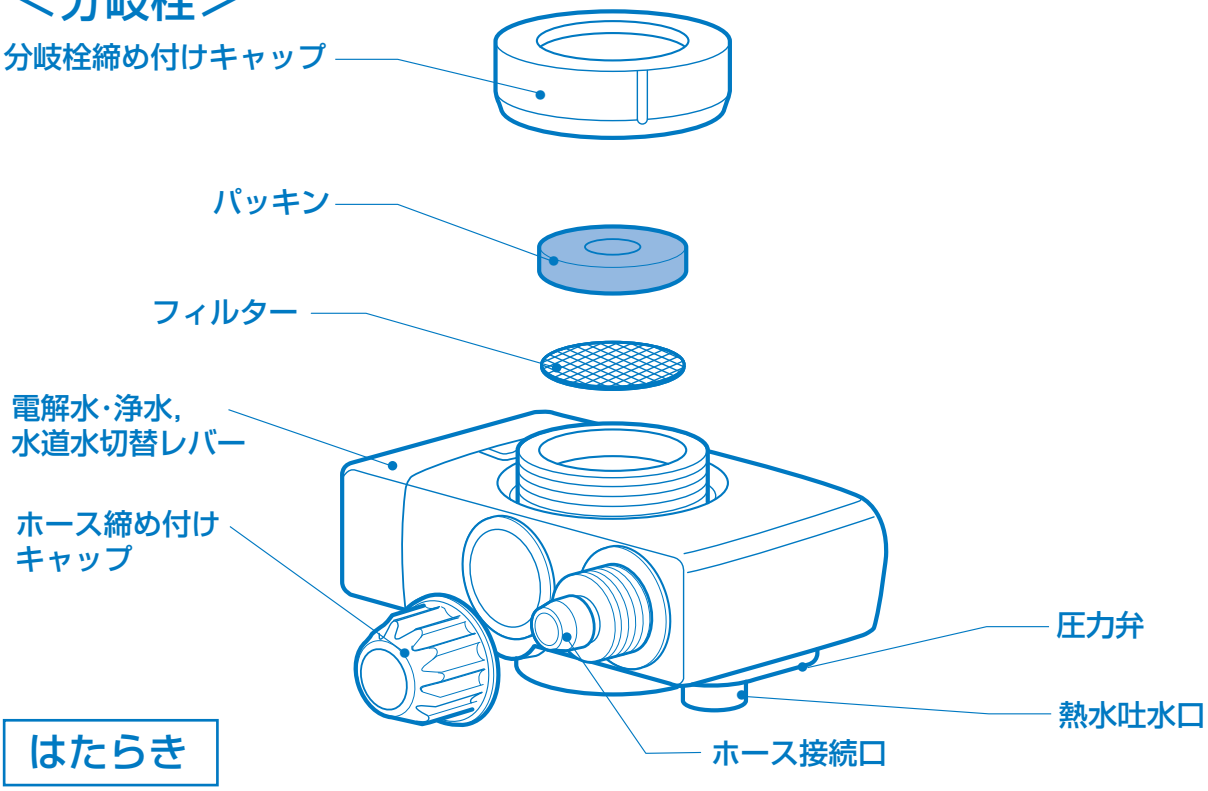
＜取付け完成図＞



※シンクの周りで安定した位置に設置してください。

各部のなまえ

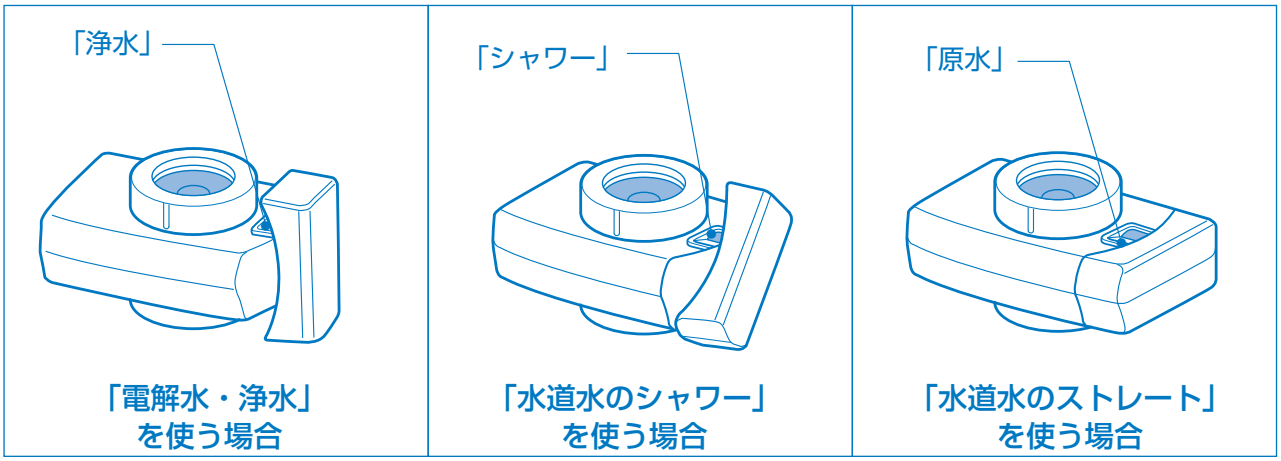
＜分岐栓＞



はたらき

●分岐栓締め付けキャップ …… 分岐栓を蛇口に固定します。
●パッキン …… 分岐栓と蛇口の接続部からの水漏れを防ぎます。
●フィルター …… ごみなどが詰まると水量が少なくなります。「水道水」や「電解水・浄水」の水量が少なくなったり、あるいは長期間（6か月以上）使用されましたら、フィルターにたまったごみなどを歯ブラシなどで取り除いてください。
●電解水･浄水，水道水切替レバー …… 「電解水・浄水」「水道水シャワー」「水道水ストレート」の切替ができます。
●圧力弁 …… 本体内部の水圧が高くなり過ぎると弁が開き吐水します。（約500ｋPa）
圧力弁から水が出る場合は、水圧が高すぎるので水道のコックを絞ってください。
●熱水吐水口 …… レバーを「電解水・浄水」にしているとき、50℃以上の熱水が流れると熱水を吐水します。
●ホース接続口 …… 給水ホースを接続します。
●ホース締め付けキャップ …… 給水ホースをホース接続口に固定します。

●電解水･浄水，水道水切替レバーの使い方



「電解水・浄水」を使う場合	「水道水のシャワー」を使う場合	「水道水のストレート」を使う場合

分岐栓の取り付け方

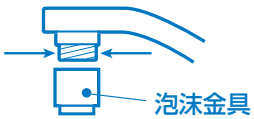
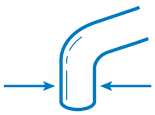
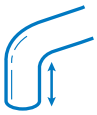
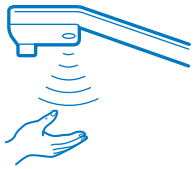
つづく

⚠注意

電解水・浄水は水温35℃未満で使用する。
(故障の原因)

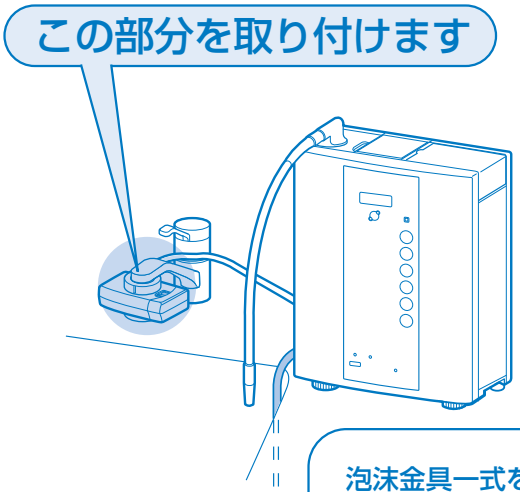
蛇口のネジ径に合った取付け用付属品を選択して使用する。
(水漏れの原因)

下記の水栓には、取り付けられません。

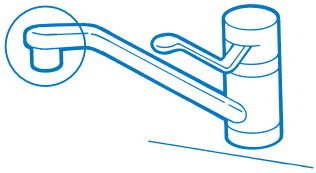
ネジの径が 違う 22mm以外		シャワー付き	
蛇口径 25mm以上		変形 特殊なネジの径	
先端が15mm以下		センサー付き	

分岐栓の取り付け方

お知らせ 蛇口部分がプラスチック製のものは、取り付け部分から水漏れする場合があります。蛇口の交換をおすすめします。

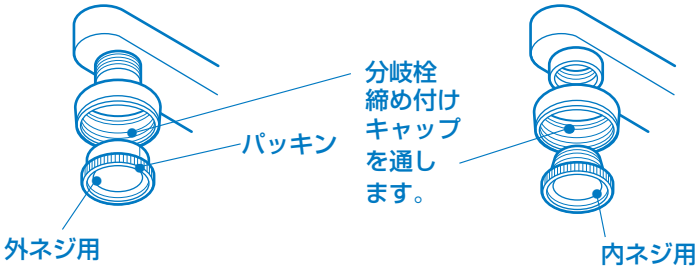


蛇口の先に泡沫がある場合

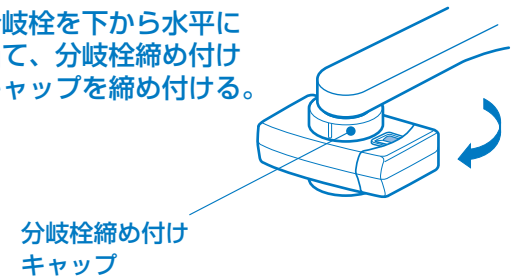


泡沫金具一式を取りはずす。

外ネジ用または内ネジ用付属品をコインなどで回して、分岐栓締め付けキャップを蛇口に取り付ける。



分岐栓を下から水平に当て、分岐栓締め付けキャップを締め付ける。

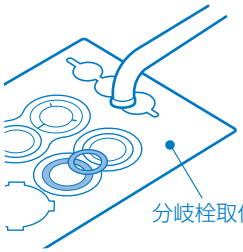


注意

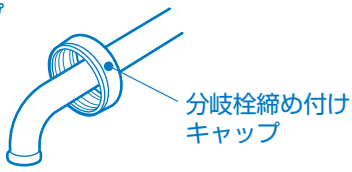
分岐栓締め付けキャップの取り付けに工具を使用しない。
(破損の原因)

蛇口の先にふくらみがある場合

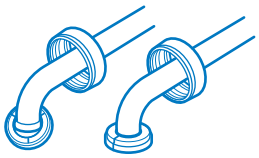
分岐栓取付け用付属品の台紙を利用して、パイプの直径を測り使用する固定用リングを選ぶ。



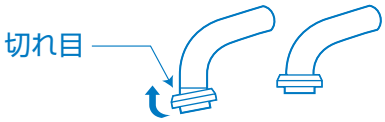
分岐栓締め付けキャップをパイプに通す。



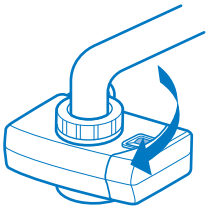
固定用リングをパイプの先端にはめ込む。



固定用リングの切れ目を手前にすると入れやすくなります。



分岐栓を水平にして蛇口に当て、分岐栓締め付けキャップを締め付ける。



注意

分岐栓締め付けキャップの取り付けに工具を使用しない。(破損の原因)

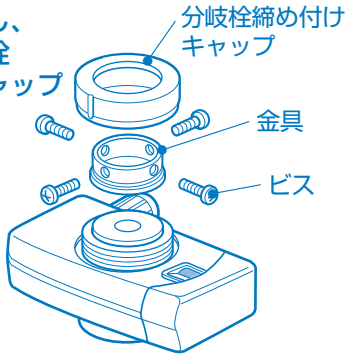
蛇口の先がストレートで段がない場合

ビス止め金具の取り付け方

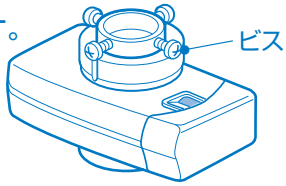
※本製品にはビス止め金具は同梱していません。お買い求めの販売店にご注文ください。

(分岐栓取付け用付属品の16mm、17.5mm、19mmで対応できない場合)

ビスをはずし、金具を分岐栓締め付けキャップに通します。

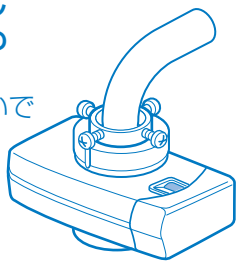


再度ビスを取り付けます。

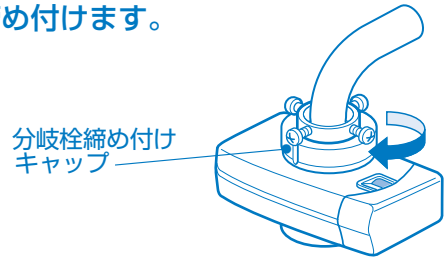


ビスをゆるめ、分岐栓を水平にして蛇口に押し付けながらビスを締め付けます。

ビスを締め付け過ぎないでください。
(蛇口に穴があくことがあります。)



分岐栓締め付けキャップを締め付けます。



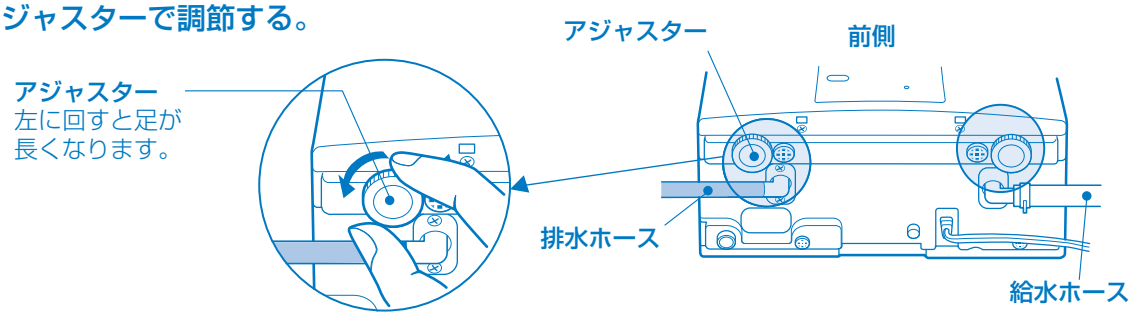
本体の設置

⚠注意

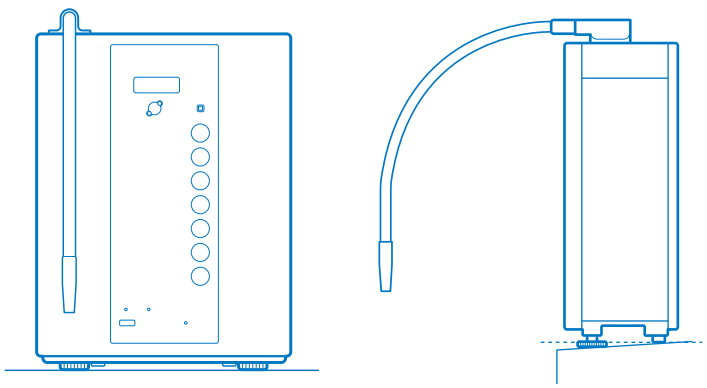
必ず守る	**本体が水平になるように設置する。** **ぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所には設置しない。** (落ちたり、倒れたりして、けがの原因)
禁止	**次のような場所には設置しない。**　(変形・変色・誤動作・故障の原因) ・火を使用しているところ、その他高温になるもの（60℃以上）の近く。 ・電子レンジ、電磁調理器、冷蔵庫の上や近く。 ・直射日光のあたるところ。　・油が付着するところ。 ・屋外や風雨にさらされるところ。　・浴室や水・蒸気かかるところ。 ・凍結の可能性があるところ。
	水の出口を市販のホースなどで延長しない。　（故障の原因）
	給水・排水ホースに他の器具を接続しない。　（水漏れや故障の原因）
	水の出口をふさいだり、ホースを折り曲げたり、ねじったり、つぶしたりしない。 (適切なpHにならなかったり、水漏れや故障の原因)
	逆止弁（水の逆流防止弁）の付いていない給湯設備には設置しない。 (給湯設備が故障する原因)
	お湯専用の水栓には取り付けない。（故障の原因）
	電源コード、給水ホース、排水ホースを本体で押さえない。（水漏れや故障の原因）

傾斜のある場所に設置する場合

傾斜に合わせて、前側の足の長さを
アジャスターで調節する。



- **本体が水平になるように**
  設置する。



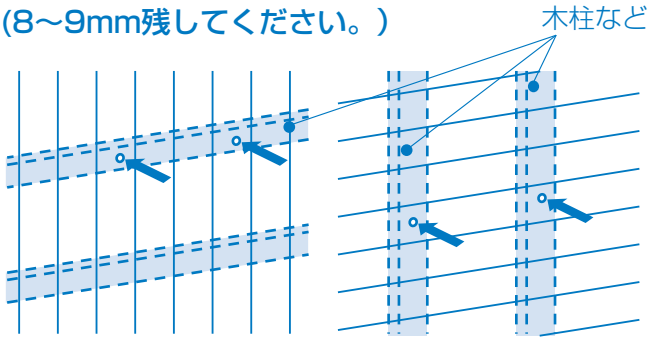
壁に掛けて使用する場合

⚠注意

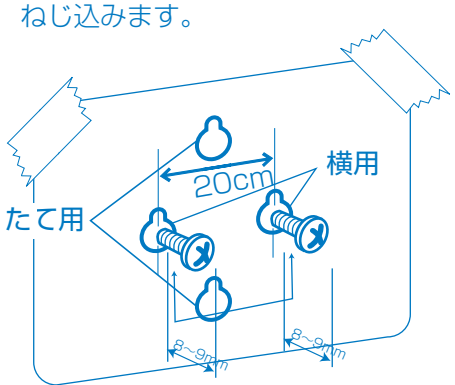
必ず守る

本体を壁に掛けて使用する場合、設置は必ず販売店に依頼する。
（ご自分で設置すると、落下して事故の原因）

1 18ページの「壁掛け用ネジ穴位置図」を切り取り線から切り取り、テープなどで貼り付けて、付属の木ネジを位置図の上からねじ込む。
(8～9mm残してください。)



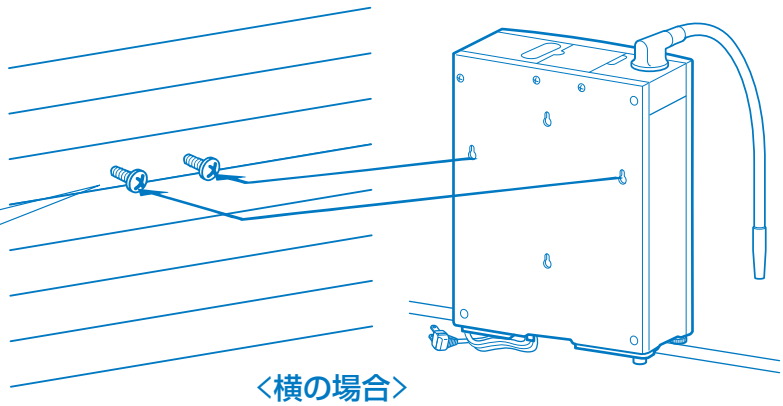
※たて用、横用のいづれかに木ネジをねじ込みます。



〈横の場合〉

2 本体裏側の取付け穴を木ネジに引っ掛ける。

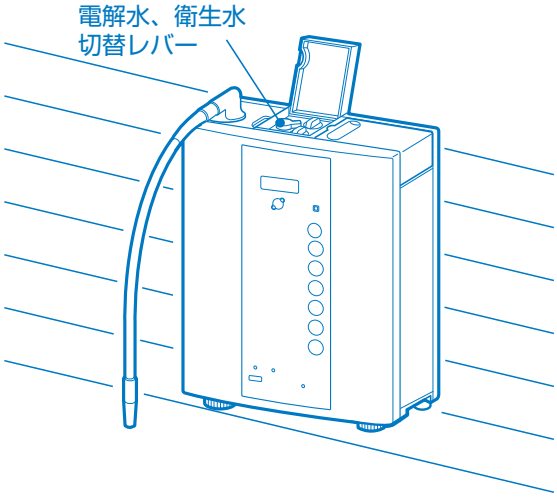
必ず付属の木ネジを使ってください。



〈横の場合〉

〈ご注意〉

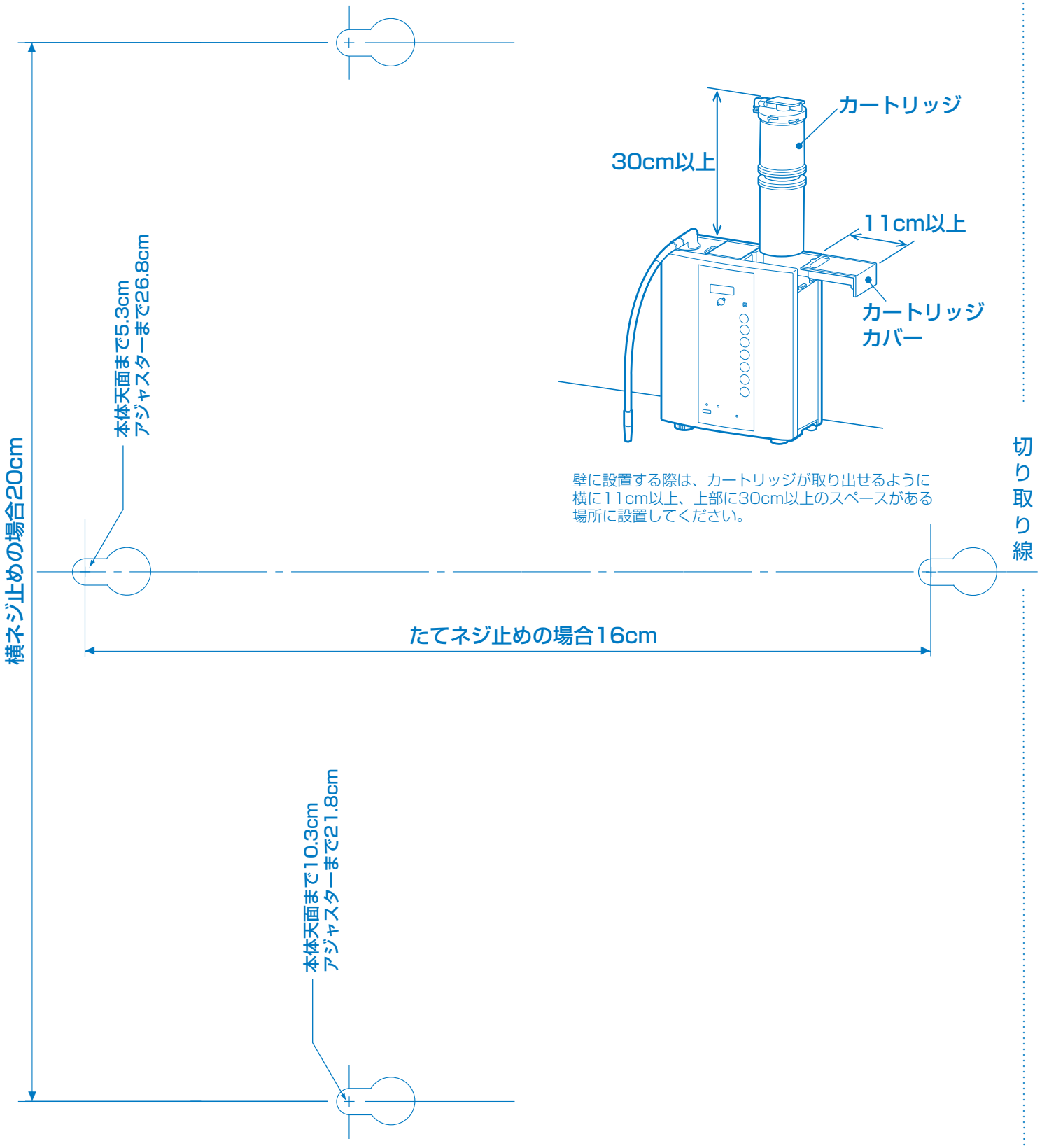
- 満水時の本体重量が約6.5kgありますので、合板や軟らかな壁面には取り付けない。
- 壁に設置する際は、カートリッジが取り出せるように本体の右横に11cm以上、上部に30cm以上のスペースがある場所に設置する。
- 電解水、衛生水切替レバーが見える高さに取り付ける。



[壁掛け用ネジ穴位置図]

シートを、切り取り線よりハサミなどで切り取り、
ネジ穴の位置決め用として使用します。
ご使用後は、必ず保存してください。

壁に設置する際は、カートリッジが取り出せるように
横に11cm以上、上部に30cm以上のスペースがある
場所に設置してください。



デリバリーパイプの取り付け

⚠注意

禁止

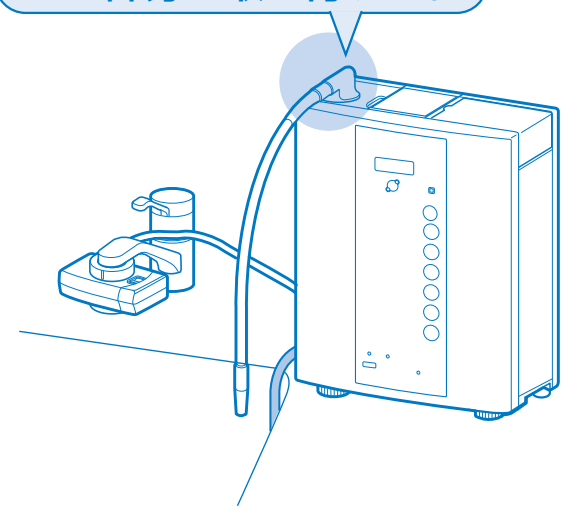
水の出口をホースなどで延長しない。(水漏れや故障の原因)

差し込み部はプラスチックなので、無理なねじ込みはしない。(水漏れや故障の原因)

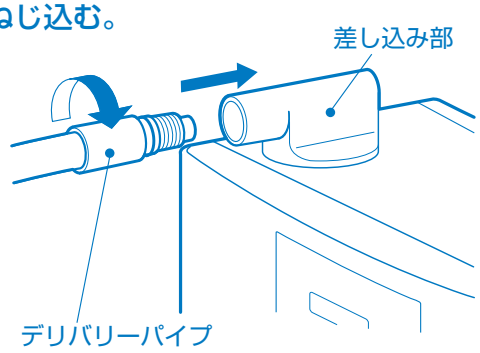
お願い

- 取り付け後、デリバリーパイプを曲げるときは、根元を持ち、もう片方の手でパイプを曲げます。

この部分を取り付けます



デリバリーパイプを根元まで
ねじ込む。

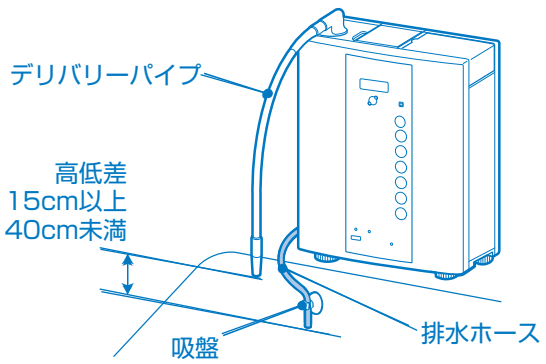


排水ホースの取り付け

お願い

- デリバリーパイプの先端と排水ホース先端の高低差は15cm以上40cm未満にします。
  (適切なpH値を得るため)
- 排水ホースが本体の底面より下になるようにします。
- 排水ホースが長すぎる場合は、切って使用します。
- 排水ホースが折れ曲がらないようにします。
- 排水ホースは延長しないでください。

排水ホースを吸盤でシンクに固定します。



給水ホースの接続

⚠注意

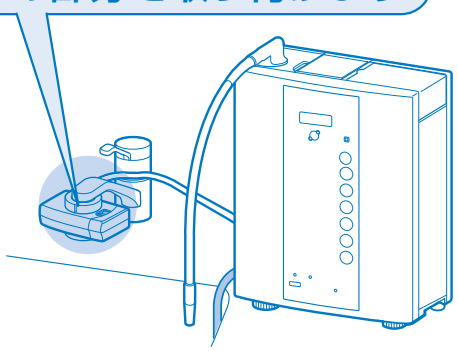
禁止

- 給水ホースは折り曲げたり、ねじったりしない。(水漏れの原因)
- お湯専用の蛇口には接続しない。 (故障の原因)
- 混合栓に接続した場合はお湯(35℃以上）を通水しない。（故障の原因）

お願い

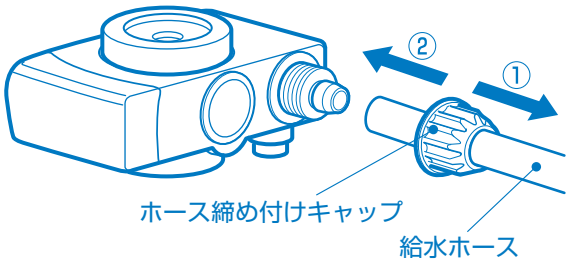
- 分岐栓を蛇口に取り付けた場合、給水ホースは蛇口が左右に振れるだけの余裕を持たせてください。

この部分を取り付けます

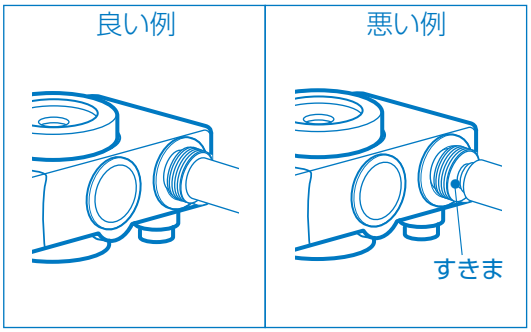


- 給水ホースが長すぎる場合は、ホースをまっすぐ切って使用することをおすすめします。

1 ホース締め付けキャップを分岐栓からはずし、給水ホースに通す。（①）

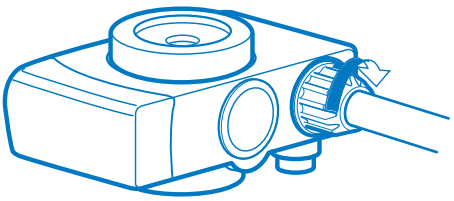


2 給水ホースを奥まで差し込む。（②）



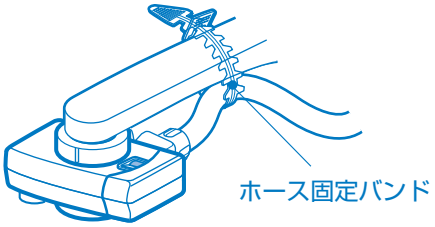
3 ホース締め付けキャップをしっかり締める。

- ●工具は使用しない。（分岐栓破損の原因）



4 ホース固定バンドで給水ホースを固定する。

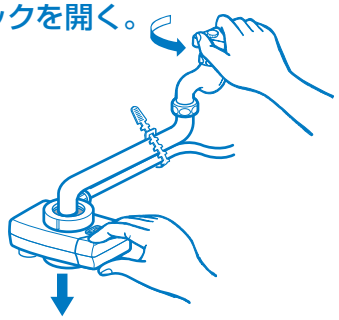
- ●固定するとき、ホースをつぶさない。



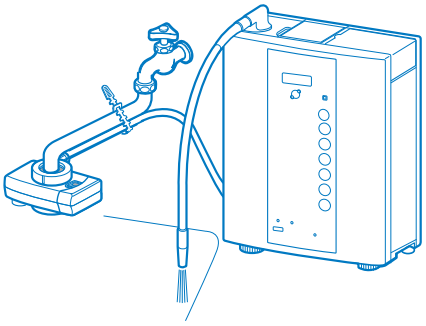
設置後、はじめて通水する場合、必ず実行してください。

- カートリッジカバーをはずし、カートリッジが取り付けられていることを確認してください。
- 電源プラグをコンセントに差し込む前に一度通水してください。

1 電解水・浄水, 水道水切替レバーを「電解水・浄水」側にして、水道のコックを開く。



2 水が透明になるまで通水する。



- 分岐栓の圧力弁から水が出る場合は、水圧が高すぎるので水道のコックを絞ってください。
- 水が出ない場合は、本体の電解水, 衛生水切替レバーが確実に切替っていることを確認してください。
- 分岐栓のレバーを切り替えるときは、必ず水を止めた状態で行ってください。
  （故障の原因となります。）

電解水素水・酸性水・浄水を使う

つづく

使い方

⚠注意

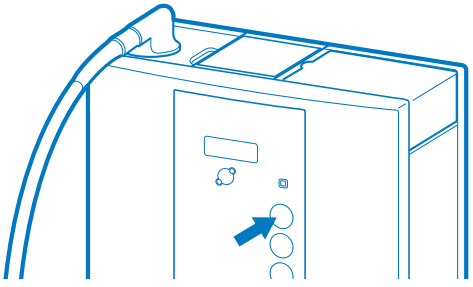
禁止

デジタル表示部が点滅している間は使用しない。
・本体内の滞留水を流し終えるまで、デジタル表示部が点滅します。
・点滅は、ご使用の間隔あるいは流量によって表示の時間は異なります。

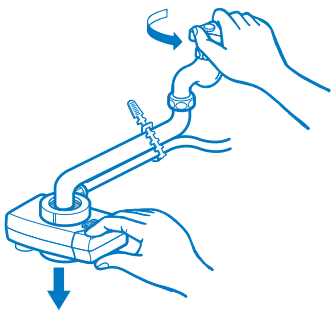
お願い

- 水道工事を行った直後の水はにごっていることがありますので、分岐栓の切替レバーを「水道水」側にして水が透明になるまで待ってから使用します。
  (カートリッジが目詰まりする原因)
- 電源プラグをコンセントから抜いたままで使用しないでください。
  (カートリッジの寿命判定を行うための流量および使用日数のカウントができませんので、カートリッジ交換時期に誤差が生じます。)

1 電源プラグをコンセントに差し込み、使用するpH調整ボタンを押す。



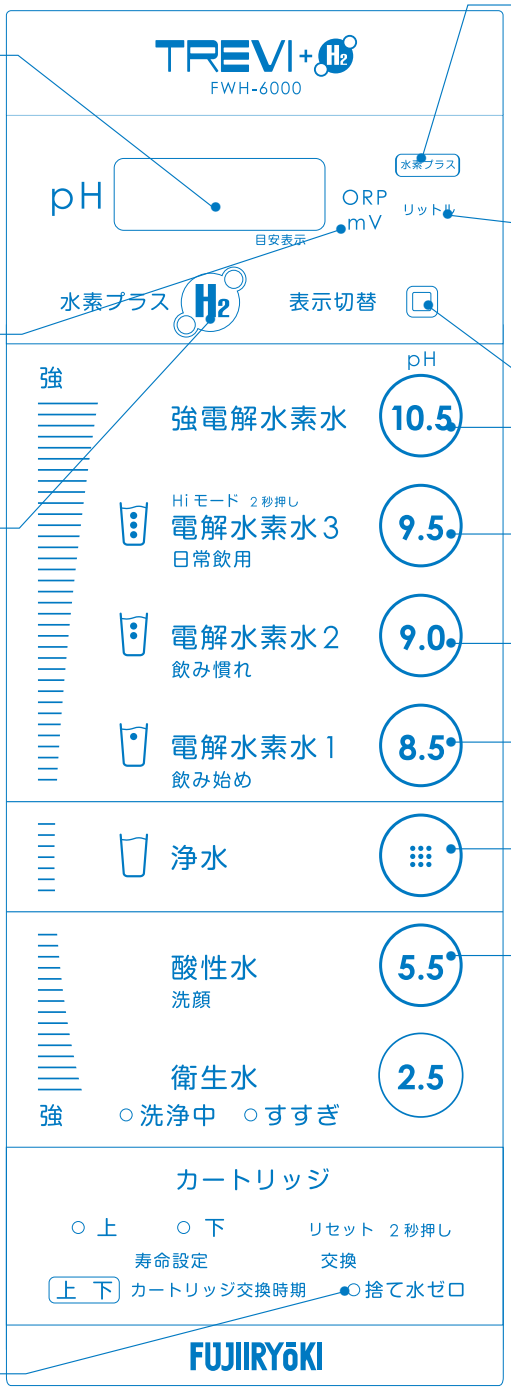
2 切替レバーを「電解水・浄水」側にして、水道のコックを開く。



電解水素水・酸性水・浄水を使う

3 デジタル表示が点滅から点灯にかわり、ブザーが「ピッ」と鳴ってから使用する。デジタル表示が点滅中はデリバリーパイプからでる水(捨て水)を捨ててください。

・「浄水」を使用している間は、排水ホースから水はでません。
・「強電解水素水」・「酸性水」・「衛生水」を使用した後、一度水を止めて再度使うときは、誤飲防止のために前に使用していた飲用の電解水素水または浄水に自動的に戻ります。
・「強電解水素水」・「酸性水」・「衛生水」を使用したときは、警告音が鳴り続けます。



デジタル表示部
通水時、押したボタンのpH値を表示します。
浄水のときは「ーー」を表示します。

水素プラス
水素プラスモードに設定し、電解水素水1～3のときにランプがつきます。

リットルランプ
流量及びカートリッジの使用可能通水量を表示している間、点灯します。

ORP表示ランプ
ORP値を表示している間、点灯します。

表示切替ボタン
通水中に押すと水素レベル、ORP値、総流量、上下カートリッジ使用可能通水量をデジタル表示します。

水素プラスボタン
水素プラスモードに設定するときに押します。

pH調整ボタン
用途に合わせてボタンを押します。
押したボタンが点灯します。

pH調整ボタン	用途
強電解水素水 10.5	
Hi モード 2秒押し 電解水素水3 日常飲用 9.5	日常飲用
電解水素水2 飲み慣れ 9.0	飲み慣れ
電解水素水1 飲み始め 8.5	飲み始め
浄水	
酸性水 洗顔 5.5	洗顔

点字表示内容

pH調整ボタン	表示内容
強電解水素水	きょーあ
電解水素水3	あ3
電解水素水2	あ2
電解水素水1	あ1
浄水	じょー
酸性水	さん

捨て水ゼロランプ

捨て水ゼロランプ
点灯中は、前回使用した電解水素水3,2,1,浄水,いずれかの水質をつづけて使用する場合、通水始めにデジタル表示が点滅することなく(捨て水することなく)すぐにご使用できます。
つづけて電解水素水を飲用するときや、お米をとぐときなどに便利です。
・「捨て水ゼロランプ」は水道のコックをしめてから約30分後に消灯します。
・強電解水素水・酸性水を選択した場合は点灯しません。

電解水素水

電解水素水ボタン、強電解水素水ボタンを押して、デリバリーパイプから出る「電解水素水」を使用します。

酸性水

酸性ボタンを押して、デリバリーパイプから出る「酸性水」を使用します。

- 排水ホースから出る水はアルカリ性が高いので使用できません。

お願い

- **「酸性水」をご使用の場合、水量を極端に絞る※と、表示pH値より低い酸性水がでることがあります。**
  デジタル表示部は標準値のpH5.5を表示しておりますが、pH測定液での確認を行ってください。
  ※ 極端な水量とは吐水口流量1.5L／分前後、6秒間でコップ1杯程度とれる流量が目安です。

お知らせ

「強電解水素水」「酸性水」をご使用の場合、流量が多すぎるとデジタル表示が点滅します。その場合は、点灯に変わるまでゆっくり水道のコックを絞ってください。

4 使用後は、水道のコックを締めて、分岐栓の切替レバーを「水道水」側にする。

■水を止めると、カートリッジの交換目安となる使用可能通水量をデジタル表示部へ「上」→「下」の順に20秒表示し消灯します。
デジタル表示中は操作パネル下部の「上」または「下」のランプが点滅してどちらの通水量を表示しているかお知らせします。

<表示例>

(寿命設定を16,000Lとした場合)

■水を止め約30分後に全てのランプが消灯し、パワーオフモードとなります。
再度ボタンを押すか、水を通水することにより解除されます。

電解水素水のpH値が低いときは

設置後30ページの「pH(ペーハー)値を測定する」に従って、電解水素水のpH値を測定してください。
測定値が本体のpH表示よりも低い場合(30ページの「お知らせ」参照)

- 水道水中の炭酸の影響でpH値が低い場合は、そのままお使いください。
- 水質によりpH値が低い場合は、「水素プラスモード」または「Hiモード」に設定してください。
  「電解水素水1,2,3」のｐH値を上げることができます。
  「水素プラスモード」に設定してもpH値が目安の範囲に入らない場合は、「Hiモード」に設定してください。

※水質や使用条件により、上がるpH値に幅があります。設定後は再度pH値の測定を行ってください。

お知らせ

- 「Hiモード」に設定しているときは、流量が多すぎるとデジタル表示が点滅し続けます。
  その場合は、点灯に変わるまでゆっくり水道のコックを絞ってください。
- 「水素プラスモード」「Hiモード」に設定しても、「強電解水素水」・「酸性水」・「衛生水」では、pH値は変わりません。
- 別売品の電解補助剤を添加することで、pH値を上げる方法もあります。
  37ページの「電解補助剤の添加」に従って添加してください。

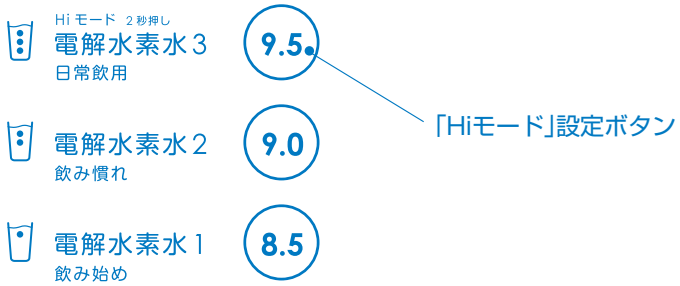
水素プラスモードを設定する
…通水をしないで、「水素プラス」ボタンを押す。
水素プラスランプが点灯し、通水を開始すると点滅に変わります。
「強電解水素水」「浄水」「酸性水」「衛生水」あるいは「Hiモード」を設定しているときは「水素プラス」ボタンは受け付けません。

水素プラスモードを解除する
…通水をしないで、「水素プラス」ボタンを押す。
水素プラスランプが消灯します。

← 水素プラスモードに設定していることをお知らせします。

Hiモードを設定する
…通水をしないで、「電解水素水3」ボタンを「ピッ」と鳴るまで長押し(2秒以上)する。
通水を開始するとデジタル表示部に「Hi」および設定したpH値が表示されます。

Hiモードを解除する
…通水をしないで、「電解水素水3」ボタンを「ピッ」と鳴るまで長押し(2秒以上)する。
通水を開始するとデジタル表示部に設定したpH値のみ表示されます。



<表示例>

「HI」と表示しHiモードに設定されていることをお知らせします。

使い方

水素レベルを見る

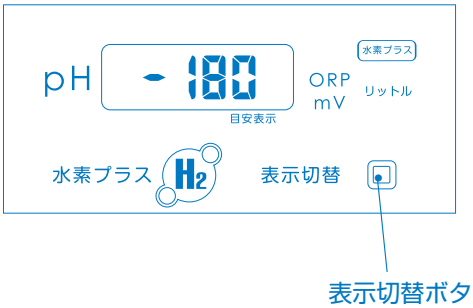
電解水素水1,2,3 を生成中に「表示切替ボタン」を1 回押すと、デジタル表示部に水素レベルを表示します。
※水素発生量の目安を表示します。（止水中と「強電解水素水」「浄水」「酸性水」使用中および「Hiモード」設定中は表示しません。）
通水中に「表示切替ボタン」を4 回押すとpH表示に戻ります。

ORP値を見る

「表示切替ボタン」を「電解水素水1,2,3」使用中は2回、「強電解水素水」「酸性水」「衛生水」使用中は1回押すと、生成している水のORP値※(目安)をデジタル表示部に表示します。
※ORP値は、所定の条件で算出した推定の値を表示しています。実際に生成された水の実測値ではありません。(水質によって実際の数値と異なる場合があります。)

通水中に「表示切替ボタン」を3回押すとpH表示に戻ります。
- 止水中と「浄水」使用中は表示しません。

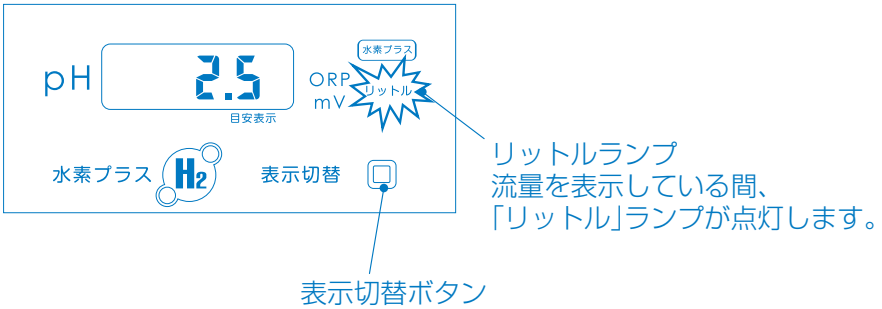
<表示例>



流量を見る

「表示切替ボタン」を「電解水素水1,2,3」使用中は3回、「強電解水素水」「酸性水」「衛生水」使用中は2回、「浄水」使用中は1回押すと、デジタル表示部に流量を表示します。
※流量は、吐水口と排水ホースから出る水を合わせた値です。(リットル/分)
通水中に「表示切替ボタン」を2回押すとpH表示に戻ります。

<表示例>



カートリッジの寿命を見る

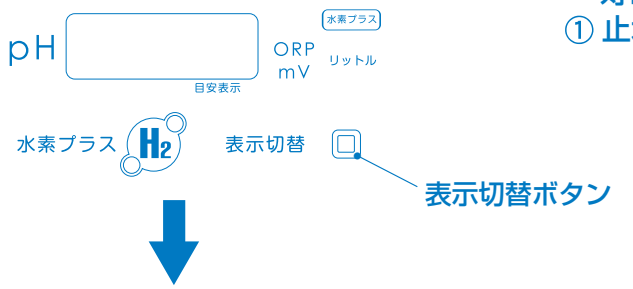
カートリッジの交換目安となる使用可能通水量と使用可能日数をデジタル表示部に表示します。

カートリッジの寿命表示

●交換目安となる使用可能通水量を1L（リットル）単位で残量を表示します。
（残留塩素処理能力を目的とした場合16,000L）
※数値は、通水するごとに減っていきます。

●カートリッジの交換目安最大730日（2年）の14日前になると、使用可能日数を合せて表示します。
※日数は待機時の時間もカウントし表示します。電源プラグを抜くと誤差が生じます。

<表示例>



寿命の確認方法
① 止水時に表示切替ボタンを押す。

<表示例>

（例）16,000Lを設定した場合

②「上・下」カートリッジの使用可能通水量を表示します。
「上」→「下」の順で、デジタル表示部に残量を3秒間表示し消灯します。
※上カートリッジを表示しているときは操作パネル下部の「上」が,下カートリッジを表示しているときは「下」が点滅します。

●カートリッジの交換目安（最大730日）の14日前になると

<表示例>

（例）残り14日の場合

通水量を表示した後、「上」→「下」の順で使用可能な残りの日数を表示します。

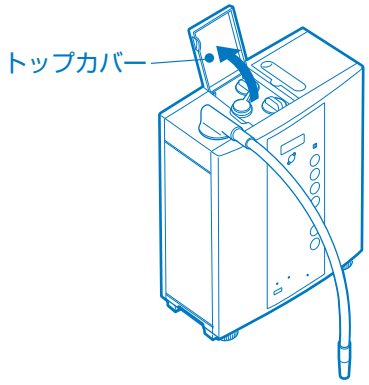
衛生水の生成

衛生水：通水路の洗浄を行います。

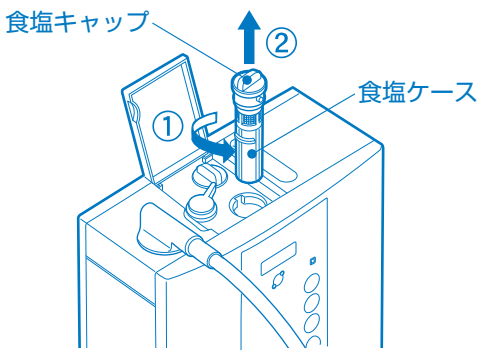
⚠注意

禁止	**衛生水はpH2.5程度の強酸性水なので絶対に飲用しない。** (体調を損なう原因)
	衛生水を使用して身体に異常を感じたときは、速やかに使用を中止して医師に相談する。
	衛生水は保存しない。　(発生する塩素により、体調を損なう原因)
	衛生水に金属製食器や指輪を漬け置きしない。　(さびたり、変色する原因)
必ず守る	**衛生水を生成・使用・排水するときには、塩素臭がするので換気扇を回す、窓を開けるなど換気をよくして使用する。**　(体調を損なう原因)
	衛生水や排水ホースから出る水が目に入ったときは、すぐに水道水で洗い流す。
	ステンレス製のシンクで衛生水を生成、使用、排水した後は、水道水で洗い流す。 (シンクが変色する原因)
	衛生水が衣類や髪に付着したときは、水道水で洗い流す。 (脱色する原因)

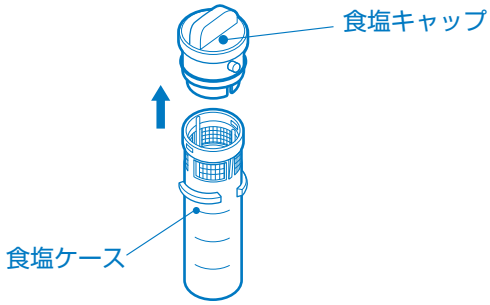
1 水道のコックを締めてからトップカバーを開ける。



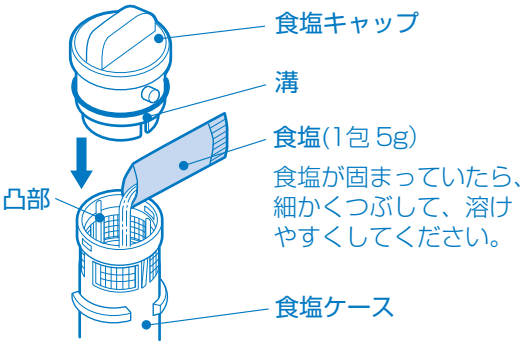
2 食塩キャップを左に回して食塩ケースを取り出す。



3 食塩キャップを引き抜く。



4 付属の食塩を食塩ケースに入れ食塩ケースの凸部に食塩キャップの溝を合わせて取り付ける。

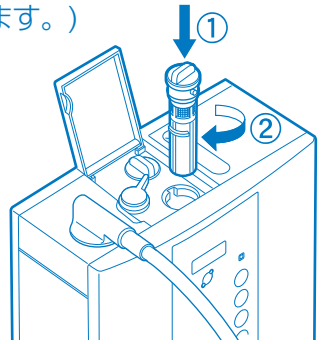


食塩の量は生成する衛生水の水量に合わせて入れてください。目安は29ページの「食塩の量と衛生水生成量の目安」をご参照ください。

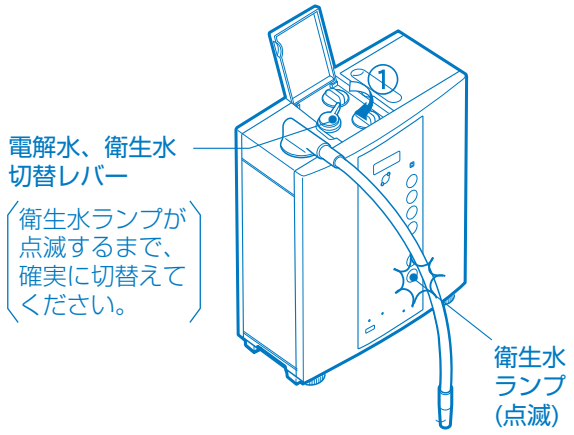
衛生水の生成

5 食塩ケースを本体に挿入し、食塩キャップを右に強く回して取り付ける。

(取り付けが不十分な場合は水漏れします。)

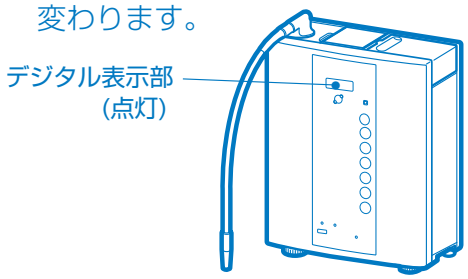


6 電解水、衛生水切替レバーを「衛生水」側に切替える。



7 水道のコックを開く。デジタル表示部が約3秒間点滅し、その後「衛生水」を生成します。

生成中はデジタル表示部が点灯に変わります。



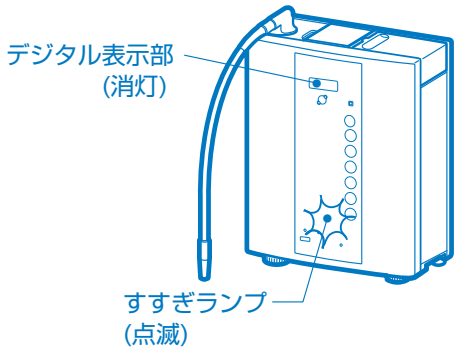
<デジタル表示部が点灯に変わらないとき>

- **食塩ケースに食塩が入っていません。**
  食塩を入れてください。
- **食塩が固まり溶けていません。**
  食塩を入れ替えてください。

8 「衛生水」生成後、食塩がなくなると自動的に約30秒間すすぎをおこないます。

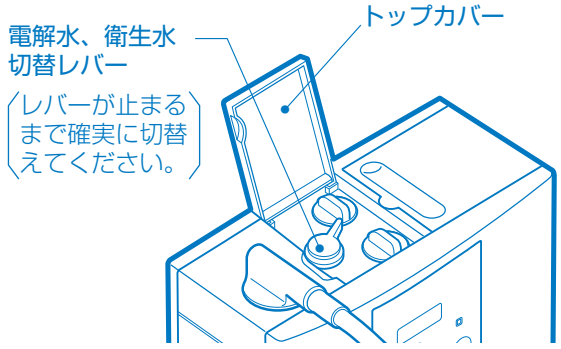
水道のコックは締めない。

すすぎ中の水は、衛生水ではありません。



- **「衛生水」生成中およびすすぎ中は警告音が鳴ります。**
- **すすぎをしないまま電解水、衛生水切替レバーを電解水側にして、「電解水」および「浄水」を生成した場合、水路に残った食塩を洗い流すためデジタル表示部が点灯するまで使用しないでください。**
- **電解水、衛生水切替レバーが衛生水側になっている間は、他の「電解水」および「浄水」は使用できません。**
- **衛生水生成中に排水ホースから出る電解水素水はpH値が高すぎるため使用できません。**

9 すすぎが終了したら、水道のコックを締めて、電解水、衛生水切替レバーを電解水側に切替えて、トップカバーを閉める。



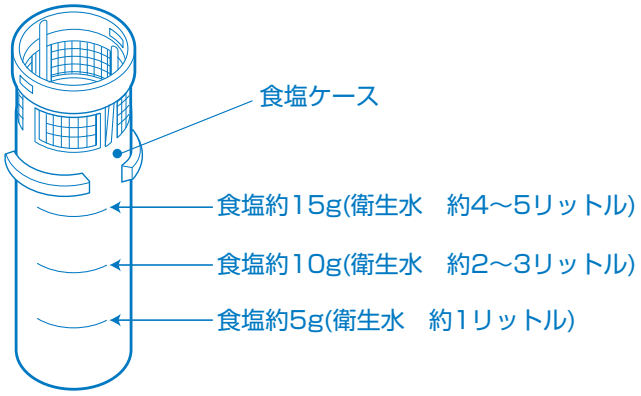
■ 使用できる食塩

付属の食塩以外に塩化ナトリウムまたは塩分99%以上の食塩が使用できます。

■ 食塩の量と衛生水生成量の目安

食塩ケースの目盛りを目安に、生成する衛生水の量に合わせて食塩(塩化ナトリウムまたは塩分99%以上)を入れてください。

- 食塩を入れすぎると食塩ケースに食塩が残ったまま固まり、衛生水が生成できない場合があります。



■ 食塩が固まったら

食塩ケースに食塩を残したままにしておくと食塩が固まり、次に衛生水を生成するときに食塩が溶けずに衛生水が生成できない場合があります。

(食塩ケースに食塩を入れても、デジタル表示部が点滅したままで衛生水が生成できません。)
固まった食塩を水道水で洗い流し、新しい食塩を食塩ケースに入れてください。

■ 「衛生水」をご使用の場合、流量が多すぎるとデジタル表示が点滅します。その場合は、点灯に変わるまでゆっくり水道のコックを絞ってください。

ご使用上のお願い

●水質の硬度が高い地域※で使用するときは、毎日使い始めに約１分間酸性水を通水してください。

(吐水口や水路にカルシウムが付着し水の出が悪くなります。)
※硬度の高い地域：石けんの泡立ちが悪かったり、やかんや鍋に白いもの(カルシウム)が付着します。

●海水などの塩分を含んだ井戸水（海岸近くの井戸水）は通水しないでください。

※「すすぎランプ」が点滅して電解水素水が生成できない場合があります。

●デリバリーパイプ、カートリッジを持って、本体を持ち上げないでください。

(故障の原因になります。)

pH(ペーハー)値を測定する

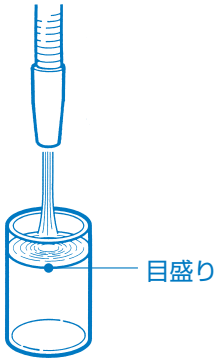
⚠注意

禁止	**pH測定液やpH測定液の入った水は、飲んだり目に入れたりしない。** （特にお子様にはご注意ください。）体調を損なう原因。 ・もし誤って飲んだ場合は、水を多量に飲み医師に相談してください。 ・もし誤って目に入れた場合は、十分に水洗いをして医師に相談してください。 ・必ずふたをして、乳幼児の手の届かない冷暗所に保存する。
火気禁止	**pH測定液は、アルコール類が含まれているので火気に近づけない。** (火災の原因)

- **設置後及び長期間(目安：1週間以上)使用しなかった場合は、付属のpH測定液で必ずpH値を測定し電解水素水3(pH値の目安9.5)がpH10を超えていないことを確認してから使用します。その後も定期的(1か月に1回以上)に測定してください。**

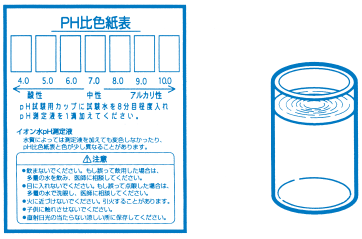
- **電解水素水はデジタル表示が点滅から点灯に変わり、5秒以上流してから付属の専用コップに取ってください。(安定したpHを測るため)**

1 電解水素水を専用コップに入れ2~3回すすいだ後、目盛りまで入れる。



2 電解水素水にpH測定液を1滴加えて、コップを軽く振る。

3 着色した水の色とpH比色紙表の色を比較し、同じ色の数値が電解水素水のpHです。



pH比色紙表

お知らせ

- 地域によって地下水を水源としている水道水をご使用になられている場合、水道水中に炭酸が多く含まれていることがあります。
  この炭酸の影響で選定したpH値とpH測定液のpH値が合わないことがあります。
  炭酸が含まれているかどうかの確認は、39ページの「電解水素水がpH測定液でテストしても、青色や紺色にならない」の原因と処置をご参照ください。
- 水質によって電解水素水のpH値が上がらない場合があります。そのときは以下のいずれかの処置をします。
  ・「水素プラスモード」または「Hiモード」に設定する。(24ページ参照)
  ・電解補助剤を添加する。(37ページ参照)
- pH値が高い場合は以下のいずれかの処置をします。
  ・弱い電解水素水モードに切替える。
  ・浄水を混ぜて使う。

お願い

・時間が経過すると試験水の色が変化します。時間を置かずにpH比色紙表と比較してください。
・pH測定液の原液を捨てるときは、水で薄めて下水道に流します。
・pH測定液やpH比色紙表は日光に当てると変色しますので、暗いところに保存してください。

本体内部の洗浄

● 本体内の電極板に付着したカルシウムを取り除いて生成機能を維持するために電極自動洗浄を行います。

「電解水素水」「強電解水素水」の総通水量が10リットルを超えた場合。

↓

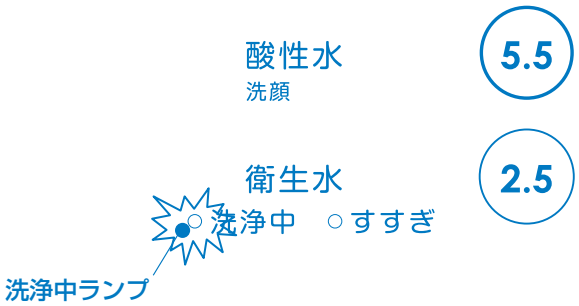
水道のコックを締める。または、電解水・浄水、水道水切替レバーを「水道水」側に切り替える。

↓

約30分後に

↓

電極板の自動洗浄を行います。（約40秒間）
洗浄中は「洗浄中ランプ」が点滅します。
洗浄終了後、「洗浄中ランプ」が消え排水ホースから洗浄した水が出ます。



↓

自動洗浄終了後に通水すると、洗浄した水を排水した後、生成をはじめます。
※洗浄した水の排水中はデジタル表示部及び洗浄中ランプが点滅し、ブザーが鳴ります。（約６秒間）
使用しないでください。

● 本体内の電解槽の寿命は約1,100時間です。(電極に通電した時間)
但し、使用状況や水質により寿命は異なります。

お願い

・電極自動洗浄後に排水ホースから出る水は使用しないでください。（約１分間水が出ます。）
・自動洗浄中に通水した場合は、デジタル表示部が点滅から点灯に変わるまで水を捨ててください。

お手入れ

⚠注意

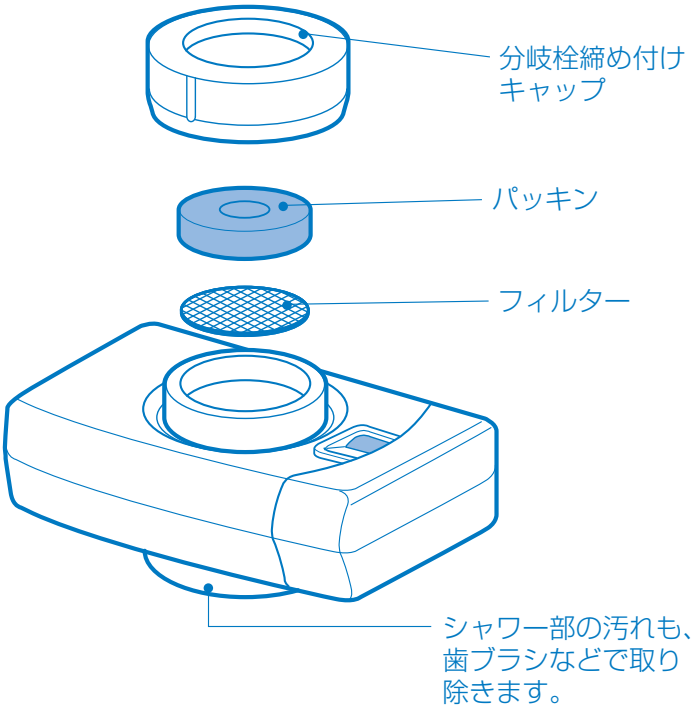
本体は水洗いしたり、水をかけたりしない。
(漏電、感電の原因)

本体や分岐栓の汚れは、柔らかい布に水か薄めた台所用洗剤(中性)を含ませ、かたく絞ってふいてください。

● 分岐栓のお手入れ

分岐栓のフィルターにごみなどがたまると、目詰まりをおこして水量が少なくなることがあります。「電解水・浄水」「水道水シャワー」「水道水ストレート」の水量が少なくなったり、あるいは長期間(6か月以上)使用した後は、分岐栓を分解しフィルターやシャワー部にたまったごみを歯ブラシなどで取り除きます。

・分解する際に、部品を紛失しないよう注意してください。
・組立の際は、図を参考にして順序を間違えないようにしてください。



凍結防止について

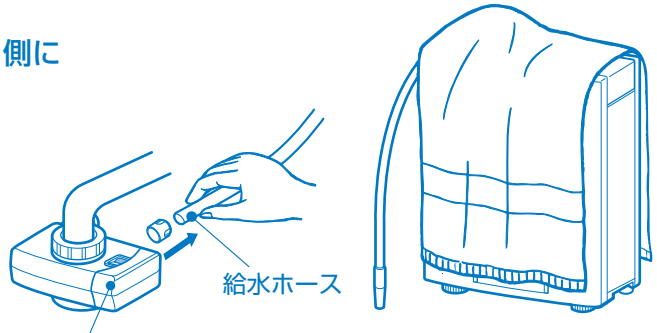
お願い

寒冷地で水道水が凍結する時期は、本体や給水ホースに滞留している水が凍結して破損することがありますので、水抜きを行ってください。

1 **電解水・浄水,水道水切替レバーを「水道水」側にします。**

2 **給水ホースを分岐栓からはずし、本体より低い位置に置いて、水抜きします。**

3 **本体をタオルなどで保温するか、暖かい場所に置きます。**



カートリッジの交換

つづく

■カートリッジのろ過性能

品番		ろ過材	除去できる物質
FW-13CM (セット品)	FW-02C (上カートリッジ)	中空糸膜	0.1マイクロメートル以上の微粒子（雑菌、赤サビなど）
	FW-11M (下カートリッジ)	不織布	粗いゴミ
		粒状活性炭	遊離残留塩素、総トリハロメタン、溶解性鉛、CAT（農薬） 2-MIB（カビ臭）、テトラクロロエチレンなど
		繊維状活性炭	

■カートリッジ交換の目安

- **使用可能通水量　：　16,000L　（残留塩素処理能力を目的とした場合）**
- **使用期間　：　最大730日（約2年）**

カートリッジご使用の目安

·1日のご使用量が40リットルの場合　約1年
·1日のご使用量が20リットルの場合　約2年

ご使用の目安は、ご家庭の水質に左右されます。
臭いが気になったり水量が大きく減少した場合には、交換時期と考えてください。

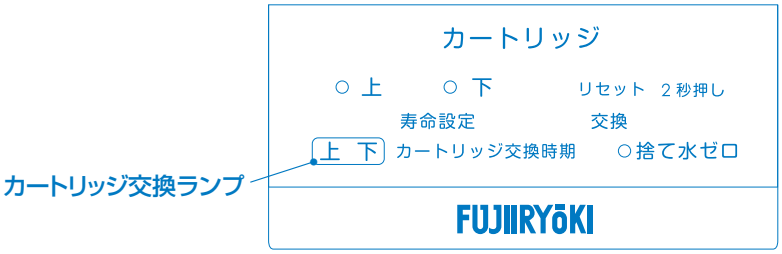
【お願い】　使用量が少ない場合でも、最大2年で交換してください。

■カートリッジの交換時期

カートリッジの交換時期を、デジタル表示とカートリッジ交換ランプで「上・下」それぞれお知らせします。カートリッジ交換ランプが点灯すると、ご使用後に「ピピーッ，ピピーッ」とブザーにより交換をお知らせします。

- **カートリッジ交換のお知らせブザー音**

カートリッジの交換時期がくると、カートリッジ交換ランプが点灯し毎回ご使用後に「ピピーッ」「ピピーッ」とブザーにより交換をお知らせします。この交換をお知らせするブザーは、ブザーが鳴っている時に表示切替ボタンを2秒以上長押しすると止めることができます。ブザーによる交換お知らせ状態に戻す場合は、電源プラグを一旦コンセントから抜き、差し直してください。
※カートリッジ交換後にリセットボタンを押すと、ブザーによる交換お知らせ状態に戻ります。



	デジタル表示		
使用可能通水量	561リットル以上	560リットル以下	0リットル
使用可能日数	15日以上	14日以下	0日
カートリッジ交換ランプ	消灯	点滅(※1) 交換時期が近づいています。 交換準備してください。	点灯(※2) 交換してください。

※1　通水中および水を止めた後約30分間は点滅しています。
※2　通水中及び待機中常時点灯しています。

カートリッジの交換

お知らせ

こんなとき、カートリッジの目詰まりが早くなります。

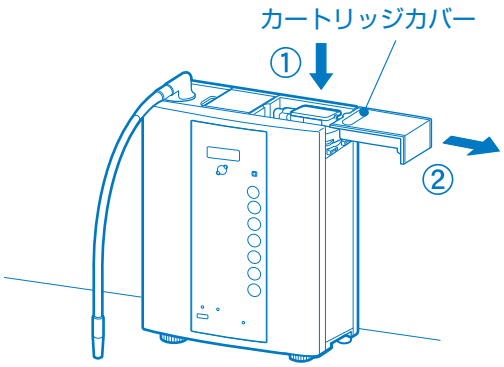
- 有機物の含有量や濁度によって使用期間は著しく異なります。
- 井戸水ではカートリッジの寿命が短くなる場合があります。
- 1日の総使用量は、カートリッジに流れる水量を表しているため、電解水・排水両方を合わせた水量となっています。
- 水中に微粒子（にごりや目に見えない目詰まり成分）や有機物が含まれている場合、水量が大幅に減少することがあります。
- 水道工事などで、にごり水や赤さび水が本体に流入すると、使用期間に関係なく目づまりを起こして水量が減少します。このような場合もカートリッジを交換してください。

こんなとき、吐水量が少なくなることがあります。

- 水温が低い場合。(水の粘度が増し、カートリッジを通りにくくなるため)
- 水圧が低いところ（ビルの最上階など）でご使用の場合。
- 水道水圧は地域の水道使用状況により常に変化しますので、使用時間帯によって水量が少なくなることがあります。

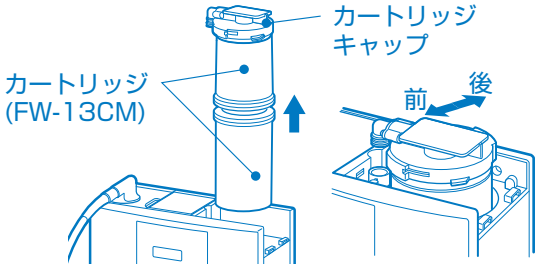
上下のカートリッジを同時に交換する場合

1 水道のコックを締め、カートリッジカバーを開ける。



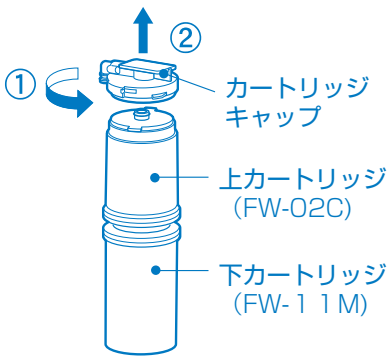
2 カートリッジキャップを持って、カートリッジを上に引き抜く。硬く引き抜きにくい場合は、カートリッジを前後にゆらし、引き抜きます。

(カートリッジの底から水が出ますので注意してください。)



3 カートリッジキャップを左に回して、上カートリッジから取りはずす。

カートリッジキャップは、新しくセットするカートリッジに取り付けるので、なくさないでください。

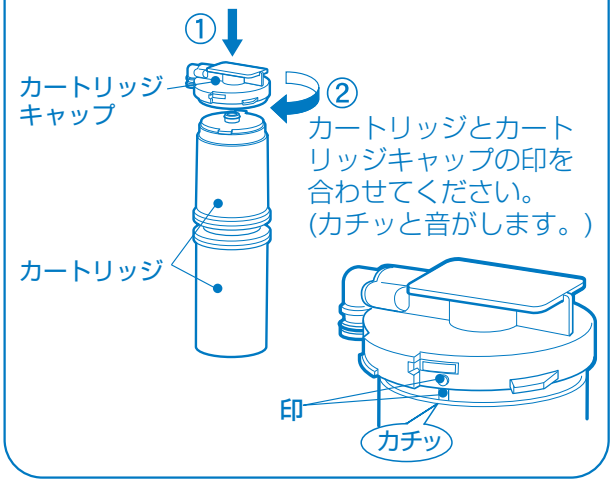


〈ご注意〉
カートリッジを引き抜く際にカートリッジから水が出て本体に入った場合、本体の底に排水するための穴があり、その穴から水が出てきます。
出た水をふき取ってください。
製品はそのままご使用できます。

カートリッジの交換

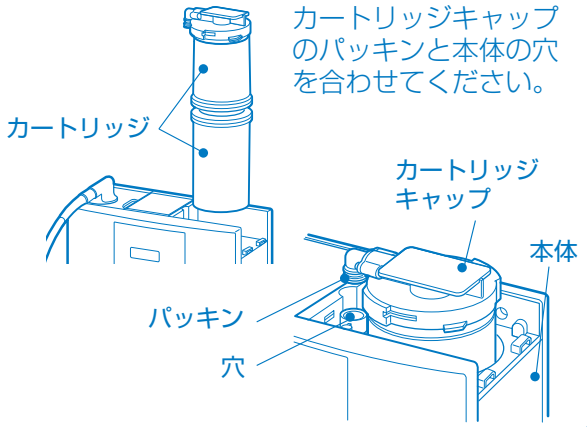
つづく

4 新しいカートリッジにカートリッジキャップを取り付ける。



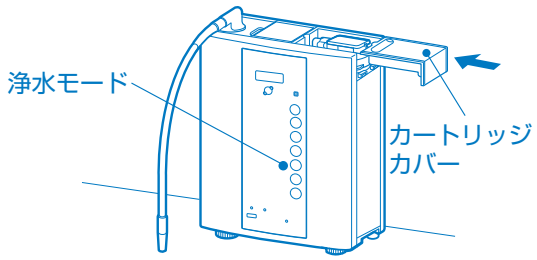
5 本体にカートリッジを取り付ける。

奥まで確実に差し込んでください。



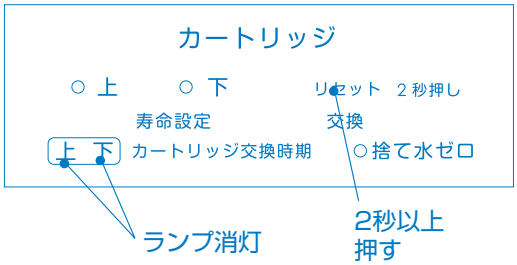
6 カートリッジカバーを閉じ、浄水モードにして出てくる水が透明になるまで(2〜3分間)通水する。

カートリッジ内の活性炭の黒い粉末が少し出ることがあります。
(カートリッジカバーを閉じないで通水するとカートリッジが浮いて水漏れします。)



7 カートリッジ交換リセットボタンを2秒以上押す。

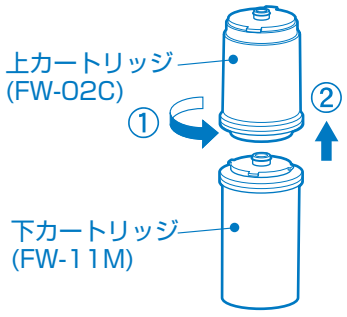
ブザーが「ピー」と鳴り、カートリッジ交換ランプが消灯します。



上または下のカートリッジのみを交換する場合

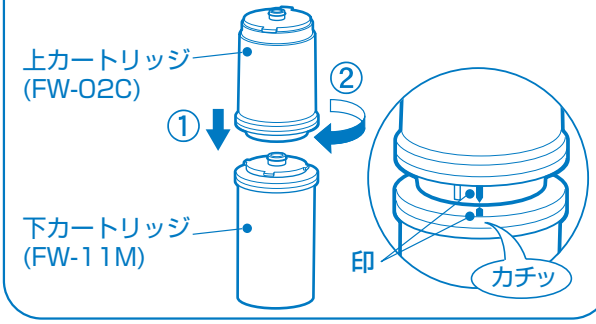
4 台所のシンク内でカートリッジを矢印の方向に回して引き抜く。

カートリッジ内から多量の水が出ます。



5 新しいカートリッジを取り付ける。

上カートリッジと下カートリッジの印が合う位置(カチッと音がする)まで回してください。



カートリッジの交換

6 35ページの「上下のカートリッジを同時に交換する場合」の④～⑥を参考にして、カートリッジを本体に取り付け、出てくる水が透明になるまで(2～3分間)通水する。

7 〈イラストは上カートリッジを交換した場合です。〉

① **交換した新しいカートリッジのカートリッジ寿命設定ボタン(「上」または「下」)を押す。**

② **押したボタンのカートリッジ寿命設定ランプが点滅し、デジタル表示部に現在設定中のカートリッジのろ過能力が点滅します。**
この点滅は、カートリッジ寿命設定ボタンの「上」または「下」を押すごとに、デジタル表示部の数字が変わります。

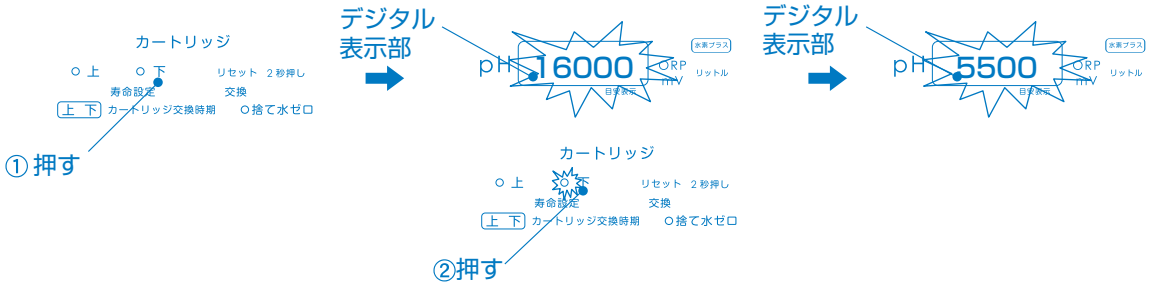
デジタル表示部
16000 → 5500 → 3000

- 「16000」にすると、16,000リットル使用で交換をお知らせします。(※通常はこの「16000」でご使用ください。)
- 「5500」にすると、5,500リットル使用で交換をお知らせします。
- 「3000」にすると、3,000リットル使用で交換をお知らせします。

③ **カートリッジ寿命設定ランプが点滅している間(約8秒間)にカートリッジ交換リセットボタンを2秒以上押す。ブザーが「ピー」と鳴り、デジタル表示部、カートリッジ寿命設定ランプ、カートリッジ交換ランプが消灯します。**
カートリッジ寿命設定ランプが点滅している間にリセットができなかった場合は、再度① から行ってください。

トリハロメタンなどが気になる方は

- **水道水中のトリハロメタンなどが気になる方は、下カートリッジの寿命設定を短くして、早めに交換してください。**

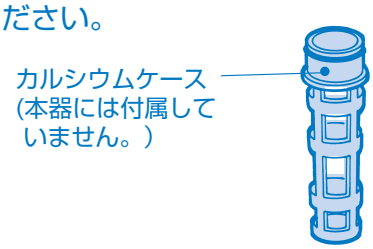


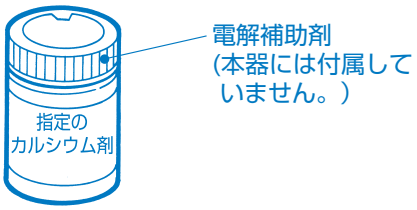
カートリッジ寿命設定ボタンの「下」を押し、デジタル表示部の数字を「5500」に変更してカートリッジ寿命設定ランプが消灯するまで(約8秒間)待ちます。
それまでに通水した水量からスタートして、新たに設定した寿命に近づくとカートリッジ交換ランプが点滅します。(すでに設定寿命以上に流していた場合は、カートリッジ交換ランプが点灯します。)

- **カートリッジ交換後、「電解水」「浄水」に泡が混じったり、水量が減少する場合があります。**
カートリッジ内の空気が抜けていないためで、しばらく通水すると元に戻ります。

電解補助剤(グリセロリン酸カルシウム)の添加

水質により電気分解されにくく、ｐＨ値が上がらない場合があります。
電気分解を促進させるため、別売品のカルシウムケース、電解補助剤（グリセロリン酸カルシウム）をご使用ください。

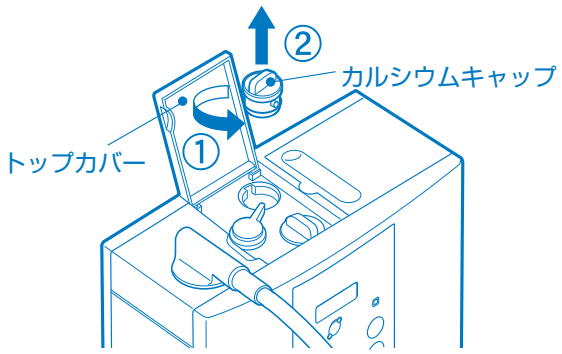




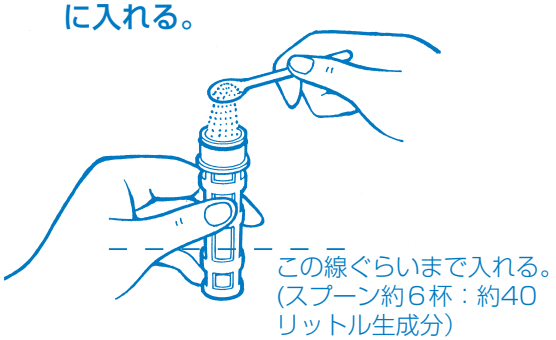
- 電解補助剤（グリセロリン酸カルシウム）を添加するときは、別売のカルシウムケース（取扱説明書３７ページ）が無い状態で製品本体にカルシウムを直接入れないでください。（故障の原因となります）
  万一カルシウムを直接入れた場合は、カルシウムが出なくなるまで通水してください。

● 必ず水道のコックを閉めてから行ってください。

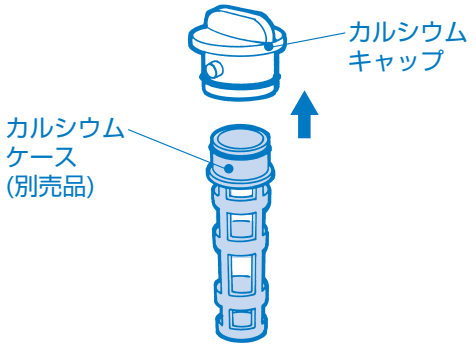
1 トップカバーを開け、カルシウムキャップを左に回して取り出す。



2 グリセロリン酸カルシウムを添加用スプーンでカルシウムケース(別売品)に入れる。

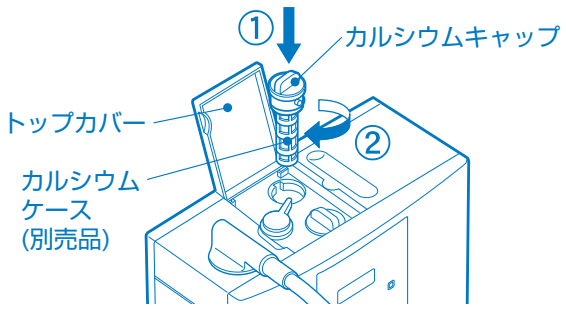


3 カルシウムキャップに取り付ける。



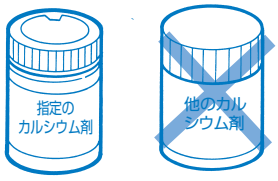
4 カルシウムケースを本体に挿入し、カルシウムキャップを右に強く回して取り付ける。

(取り付けが不十分な場合は水漏れします。)



お願い

- 指定の電解補助剤以外は使用しないでください。
- 電解補助剤の添加量は必ずお守りください。
- 長期間(約１週間以上)使用しないときは、残っている電解補助剤をきれいに取り除いてください。
- １週間に一度はカルシウムケースとカルシウムキャップを 洗浄してください。
  カルシウムケースが不衛生になるとカビが発生することがあります。
- カルシウムの溶けかたは、水質・水温・使用条件などにより異なります。
- 指定の電解補助剤をご購入の際は、お買上の販売店またはお客様相談窓口へご連絡ください。



指定電解補助剤

故障かな…と思ったら

	こんなとき	考えられる原因と処置	参照ページ
表示について	何も表示(点灯)しない。	●電源プラグがコンセントから抜けていませんか。 ⇒ 電源プラグを根元まで確実に差し込んでください。	11
		●パワーオフモードのため、使用していないときは自動的にランプが消えるようになっています。 ⇒ 故障ではありません。 ※水を止めた後、30分以上使用しないと全てのランプが消えます。	23
	デジタル表示しない。	●カートリッジが目詰まりしていませんか。 ⇒ 水道水の水質（にごり、鉄さびなど）によって目詰まりの時期に大幅な差が出ることがあります。 カートリッジを交換してください。	33〜36
		●水圧が下がっていませんか。 ⇒ 水圧が回復するまでお待ちください。	—
		●給水ホースが折れ曲がっていませんか。 ⇒ 折れ曲がりを直してください。	—
		●分岐栓が目詰まりしていませんか。 ⇒ 分岐栓内のフィルターに付着したごみを取り除いてください。	32
	「電解水」生成中にデジタル表示が消える。	●「電解水」を下記の時間連続して生成すると、本体内の安全装置が作動して電解水の生成を停止します。(水は流れます。) ●「電解水素水」…… 約30分 ●「強電解水素水」・「酸性水」…… 約10分 ⇒ 水道のコックを一度締めた後、約30分待ってから再度開けてご使用ください。	—
		●本体内部の温度が異常上昇したときは、安全装置が作動して「電解水」の生成を停止します。デジタル表示部に"□□□□□"が点滅します。エラー表示は10秒間行い、自動的に「浄水」ランプが点灯します。浄水はご使用いただけます。 pH □□□□□ 目安表示　ORP mV　水素プラス リットル ⇒ 水道のコックを締めて、しばらくお待ちになりますと再度ご使用になれます。	—
	カートリッジ交換ランプが点灯したままになる。	●カートリッジ交換リセットボタンを押し忘れていませんか。 ⇒ カートリッジを交換したときは、カートリッジ交換リセットボタンを2秒以上押してください。	35
	カートリッジ交換ランプが早く点灯する。	●デジタル表示部でカートリッジの使用可能通水量をご確認ください。 ⇒ 毎日の使用量が多いと早く点灯します。	26
		●カートリッジの寿命設定が5,500L、3,000Lになっていませんか。5,500L、3,000Lに設定すると、カートリッジ交換ランプが早めに点灯します。(残留塩素はまだ除去できます。) ⇒ カートリッジの寿命設定がどちらになっているか確認してください。	36
	デジタル表示が「-----」になる。	●電気分解しづらい水です。 ⇒ 別売品の電解補助剤を添加してください。	37

	こんなとき	考えられる原因と処置	参照ページ
表示について	すすぎランプが点滅する。	●電気の通りやすい水です。機器の保護のため電気分解を停止します。 ⇒ しばらく浄水にして水をながしてからご使用ください。	29
		●食塩ケースに食塩が残っていませんか？ ⇒ 残った食塩を洗い流してください。	27〜28
生成水について	電解水素水がpH測定液でテストしても、青色や紺色にならない。	●水道水中の炭酸の影響です。電解はされています。 炭酸の有無は次の方法で再度確認してください。 (1) pH値9.0の電解水素水をコップに入れます。 (2) pH測定液を2滴ほど専用コップに入れます。 (3) コップにとった電解水素水を専用コップの目盛りまで入れます。このとき、入れた瞬間に青色か紺色になってからすぐに緑色や黄色に変色する場合は、炭酸が含まれています。 (1) 電解水素水をコップに入れる。 (2) pH測定液を専用コップに2滴入れる。 (3) 電解水素水を専用コップに入れる。	24 30
	水が出ない。	●接続ホース、本体内部およびカートリッジが凍結していませんか。 ⇒ 凍結が解凍するまで待ってください。	32
	衛生水が生成できない。	●食塩ケースの中に食塩が固まっていませんか。 ⇒ 固まった食塩を洗い流し、新しい食塩を入れてください。	29
	生成水、浄水の量が少なくなった。	●電解水, 衛生水切替レバーが途中の位置になっていませんか。 ⇒ 確実に切替えてください。	11
		●カートリッジが目詰まりしていませんか。 ⇒ 水道水の水質（にごり、鉄さびなど）によって目詰まりの時期に大幅な差が出ることがあります。 カートリッジを交換してください。	33〜36
		●分岐栓が目詰まりしていませんか。 ⇒ 分岐栓内のフィルターに付着したごみを取り除いてください。	32
	変な臭いがする。	●カートリッジの寿命です。 ⇒ カートリッジを交換してください。	33〜36
		●デジタル表示部が点滅中の水を使用していませんか。 ⇒ 点灯に変わってから使用してください。	22
		●電解補助剤を添加後のカルシウムケースが汚れていませんか。 ⇒ 洗浄してください。	37
	白い浮遊物が出る。	●カルシウムが反応してできた固形分です。 ⇒ 飲用しても害はありません。	—
	赤水（赤さびなどの混じった水）が出る。	●水道管のさびや、水道工事後のにごりが出ています。 （飲用しないでください。） ⇒ 電解水・浄水，水道水切替レバーを「水道水」側に切替え、赤水が出なくなるまで水を流してください。	—

故障かな…と思ったら

	こんなとき	考えられる原因と処置	参照ページ
生成水について	「電解水素水」をコップで受けると、キラキラした浮遊物が見えたり、茶褐色または黒色の沈澱物や浮遊物が見える。	● pH値が高いため水に溶けている成分(主にミネラル分)が、水酸化物となって出ます。(飲用しても害はありません。) ⇒ pH値を下げて使用してください。	22
生成水を使ったら	アルミ製のやかん、鍋などの表面が黒くなった。	● アルカリ性の水を入れて加熱すると、酸化して黒くなります。(飲用しても害はありません。) ⇒ アルマイト加工した製品か、アルミ製以外のものを使用してください。	―
	やかん、鍋、ポットの中に白い物質が付着する。	● 水に溶けていたカルシウムなどが加熱により結晶化したものです。(飲用しても害はありません。) ⇒ お湯で薄めた酢に浸すときれいになります。	―
	お湯が白くにごる。	● pH値が高いため水に溶けていたカルシウムなどが加熱により結晶化したものです。(飲用しても害はありません。) ⇒ pH値を下げて使用してください。	22
	「電解水素水」でご飯を炊いて保温しておくと黄色くなる。	● お米の中の糖分とアミノ酸が、熱で反応して起こるものです。(無害です。) ⇒ pH値を下げて使用してください。	22
	「電解水素水」でご飯を炊くとやわらかくなる。	● お米のでんぷん質が、アルカリ性によりほぐれやすくなり、やわらかめに炊きあがることがあります。 ⇒ pH値を下げるか、浄水を使用してください。	22
	排水ホースの内側に黒い物質が付着する。	● 空気中の浮遊菌が付着して起きるものです。 ⇒ 害はありませんが、中性洗剤で洗うか新しい排水ホースと交換してください。	―
衛生水を使ったら	「衛生水」から塩素臭がする。	● 洗浄するために生成される「衛生水」の臭いです。故障ではありません。 ⇒ 塩素臭は気分が悪くなるなど、体調を損なうことがありますので、十分に換気をしてください。	27〜29
その他	通水を始めるとブザーが鳴る。	● 本体内部の自動洗浄後の洗浄水を排出している警告音です。 ⇒ 電解水素水の総通水量が10リットル未満の場合は自動洗浄しません。(ブザーも鳴りません。)	31
	製品本体の底から水が出る。	● 万一製品内に水が入った場合やカートリッジを交換する際にこぼれた水を排水するための穴が底にあります。 ⇒ 出た水はふき取ってください。製品はそのままご使用できます。	―
	本体から「カチッ」と音がする。	● 本器の性能を維持するため、自動洗浄を行った後の電子部品の動作音です。異常ではありません。	31

- 以上の処置を行っても復帰しない場合は、故障の可能性がありますので、ご自分で修理なさらないでお買い上げの販売店または、お客様相談窓口へご連絡ください。
- 長期間使用しないときは、洗浄後、乾燥させてから湿気の少ないところに保存してください。

製品を廃棄するときのお願い

この製品には、リサイクル可能な部品が含まれています。ご使用済み製品、カートリッジの廃棄に際しては、お住まいの地域条例などに従って処理してください。

アフターサービスと保証

<保証書>(別に添付してあります。)

お買い上げの際に、保証書を販売店からお受け取りになり、「お買い上げ日」・「販売店名」欄の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みになり大切に保存してください。

- **保証**

  お客様の正常なご使用方法によって使用され万一故障が生じた場合には、保証書裏面の保証規定内容により、お買い上げの日から1年間は無料修理いたします。

- **有料修理を依頼される場合**

  お買い上げ日より1年を経過した場合や保証規定以外の修理は、有料修理となります。
  修理が必要な場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

- **補修用機能部品の保有期間**

  本製品の補修用機能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
  補修用機能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- **故障が発生した場合や異常を感じた場合**

  ご使用の製品が故障したり、異常を感じた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
  次にお買い上げの販売店まで、「製品の品番 FWH-6000」・「故障や異常の具体的な症状」・「保証の有無」・「ご自宅の住所・電話番号」などをご連絡ください。

消耗品・別売品のお買い求め方法

消耗品

■交換用カートリッジ
品番：FW-13CM(セット品)
品番：FW-11M(下カートリッジ)
品番：FW-02C(上カートリッジ)
■カルシウムケース
■電解補助剤(グリセロリン酸カルシウム)
■pH測定液
■衛生水生成用食塩

★商品をお買い上げになられた販売店へご注文ください。
販売店以外でのご注文方法は次のとおりです。

★弊社 フジ医療器 お客様相談窓口へのご注文方法
フリーダイヤル 0120−027−612
受付時間(月～金) 9:00～17:30、但し、祝祭日、弊社休日を除く

★弊社 フジ医療器 のホームページからのご注文方法
http://www.fujiiryoki.co.jp
トップページの「フジ医療器モール」⇒「消耗品・別売品」
⇒「アルカリイオン整水器 消耗品・別売品」からご注文ください。

仕様

一般的名称		連続式電解水生成器(JMDNコード 71024000)
類別		機械器具(83)医療用物質生成器
医療機器分類		管理医療機器
販売名		電解水素水生成器S1
医療機器認証番号		226AKBZX00010000
品番		FWH-6000
定格		AC100V　50-60Hz　2.9A
給水方式		吐水蛇口分岐栓
給水接続		レバー切替
構成		浄水器(FW-13CM)本体内蔵型
消費電力		約250W(待機時:約0.4W)
本体	質量	約5.7kg(満水時:約6.6kg)
	寸法	幅255mm×奥行120mm×高さ347mm
本体通水可能水温		35℃未満(分岐栓は60℃未満)
本体通水可能水圧(動水圧)		70kPa～500kPa
使用可能水道管圧力(静水圧)		70kPa～750kPa
電解生成水量	定格水量	2.8L／分(水圧100kPa、20℃のとき)
	吐水口水量	2.65L／分(水圧100kPa、20℃のとき)
	排水口水量	0.15L／分(水圧100kPa、20℃のとき)
連続使用可能時間		電解水素水　：約30分(注1)　　酸性水：約10分(注1) 強電解水素水：約10分(注1)　　衛生水：最大約5分(食塩15g投入時)
ろ過能力	ろ過流量	2.5L/分
	遊離残留塩素	16,000L(注2)
	濁り	16,000L(注3)
	総トリハロメタン	6,500L(注2)
	溶解性鉛	7,500L(注2)
	CAT(農薬)	10,000L(注2)
	2-MIB(カビ臭)	5,500L(注2)
	テトラクロロエチレン	16,000L(注2)
	トリクロロエチレン	16,000L(注2)
	1.1.1-トリクロロエタン	5,500L(注2)
	クロロホルム	5,500L(注2)
	ブロモジクロロメタン	15,000L(注2)
	ジブロモクロロメタン	16,000L(注2)
	ブロモホルム	16,000L(注2)
	交換の目安 寿命設定16000Lの場合	●FW-02C・FW-11M　：　約1年（1日の使用量40Ｌ）(注4) ：　約2年（1日の使用量20Ｌ）
電源コードの長さ		2.5m
電源保護装置		ヒューズ（4A）
製造販売元		日立マクセル株式会社
製造元		福岡県田川郡福智町伊方4680番地　　電話:0947-22-0585

（注1）　水質、吐水量、使用環境によって短くなることがあります。
（注2）　JIS S 3201試験による除去率80%の値。
（注3）　JIS S 3201試験によるろ過流量の50%の値。
（注4）　1日に40L使用した場合です。1日の使用量が増えると、交換時期は早くなります。
使用水量、水質等によって大幅に短くなることがあります。

MEMO

お客様相談窓口

フリーダイヤル
0120-027612
受付：月曜～金曜　午前9時～午後5時30分
※但し、祝祭日、弊社休日を除く

FAX・E-mailでの受付も行っております。
FAX番号：06-4793-0818
E-mail：　フジ医療器ホームページのお問合せフォームにて
受け付けております。
フジ医療器ホームページ　http://www.fujiiryoki.co.jp/
※FAX・E-mailでの受付は24時間行っておりますが、お客様へのご連絡はフリーダイヤルの受付時間となります。

個人情報のお取り扱いについて
ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて
株式会社フジ医療器は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。
また、折り返し電話させていただくときのため、ナンバーディスプレイを採用しています。
なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合せは、ご相談された窓口にご連絡ください。

お客様へ…ご購入年月日・ご購入店名を記入されると便利です。

ご購入年月日	年　月　日
ご購入店名	TEL

販売元
美と健康の総合メーカー
株式会社フジ医療器
〒540-0011 大阪市中央区農人橋1丁目1-22 大江ビル14階

2014年12月5日作成（新様式第3版）

52004271-03
本書は再生紙を使用しています。
Z4(KW)ED